

まちづくり市民意識調査  
調査結果報告書

平成24年6月

明石市



## 目 次

I	調査の概要	P. 1
II	回答者の属性（問1）	P. 2
III	調査の結果	P. 3
	1）市が実施している取り組みの今後の方向性について（問2）	P. 3
	2）まちの住みやすさなどについて（問3）	P. 25
	3）各分野における意識や行動について（問4）	P. 30
	4）今後のまちづくりに関するご意見やご提案（問5）	P. 38



## 1. 調査の目的

今後、市の財政についても大変厳しい状況が続くことが見込まれているなか、平成24年度から、より一層の財政健全化を進めるにあたり、市が行っている各種の助成制度や啓発イベントなどの今後の方向性についての意識調査を行った。

また、本市全体のまちづくりの進捗状況を把握し、さまざまな分野における今後のまちづくりに生かしていくため、明石のまちへの思いや市が進めている施策等や各分野における市民の意識や行動についての調査を行った。

## 2. 調査の内容

- (1) 回答者の属性について
- (2) 市が実施している取り組みの今後の方向性について
- (3) まちの住みやすさなどについて
- (4) 各分野における皆さんの意識や行動について
- (5) 今後のまちづくりに関するご意見・ご提案について

## 3. 調査の方法等

- (1) 調査対象 18歳以上の市民5,000人（住民基本台帳から単純無作為抽出）
- (2) 調査の実施方法 郵送調査
- (3) 調査の実施期間 平成24年3月28日（水）発送、平成24年4月20日（金）投函締め切り

## 4. 回収結果

配布数：5,000人、 回答数：2,672人、 回収率：53.4%

### ※アンケート調査結果集計時の留意事項

- A) 設問ごとの有効回答数は「n=〇」と表示しており、回答比率はこれを100%として算出している。
- B) 本報告書の数表における比率は百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合がある。

## Ⅱ 回答者の属性（問1）

回答者の性別は、「女性」が54.6%、「男性」が43.9%であった（図1-1参照）。

回答者の年齢は、「60歳代」が最も多く22.2%で、60歳代以上が約4.5割を占めた。なお、市の実際の人口の年齢構成比と比較すると、60歳代と70歳代の回答の割合が高く、20歳代は低かった（図1-2、表1-1参照）。

回答者の世帯構成は、「親と子の世帯（2世代）」が最も多く50.4%、次いで「夫婦だけの世帯」が29.0%、「ひとり世帯」が10.2%であった（図1-3参照）。なお、回答者の世帯に、児童・生徒がいる割合は、「乳幼児（小学校就学前の子ども）」が10.4%、「小学生」が10.2%であった。「いない」が最も多く64.3%であった。

回答者の居住年数は、「30年以上」が最も多く、50.7%、次いで「10年～20年未満」が16.8%、「20年～30年未満」が16.5%、「5年～10年未満」が6.7%であった。

図1-1 回答者の性別

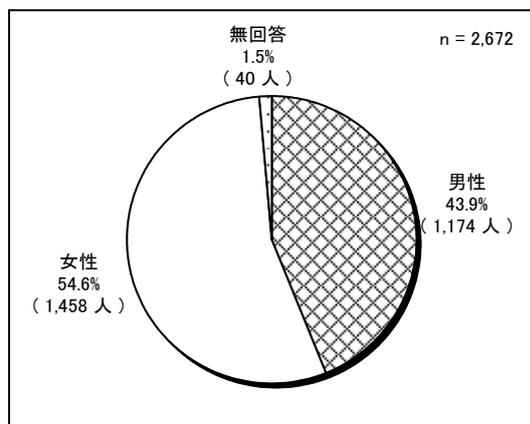


図1-2 回答者の年齢

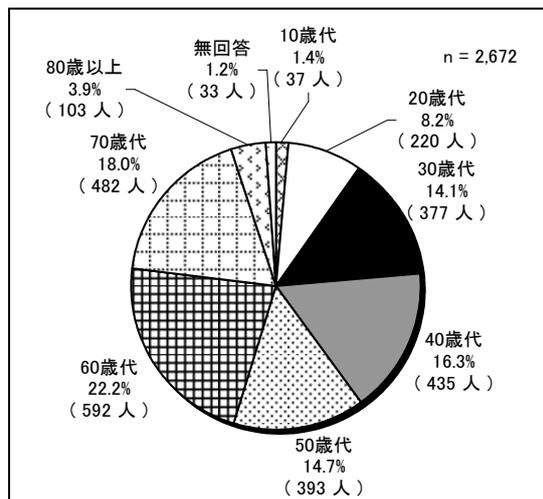


図1-3 回答者の世帯構成

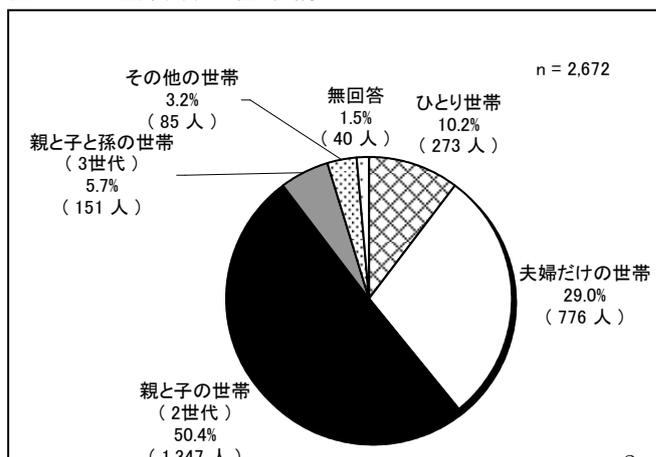


表1-1 回答者の年齢構成と市全体の年齢構成の比率

	① 回答者	② 明石市 人口	差分 (①-②)
10歳代(18歳以上)	1.4%	2.4%	-1.0%
20歳代	8.2%	12.9%	-4.7%
30歳代	14.1%	17.0%	-2.9%
40歳代	16.3%	17.6%	-1.3%
50歳代	14.7%	14.0%	0.7%
60歳代	22.2%	17.5%	4.7%
70歳代	18.0%	12.1%	5.9%
80歳以上	3.9%	6.5%	-2.6%
※対象者総数	2,672	243,155	

※明石市人口は住民基本台帳人口より（H24.4.1）

### Ⅲ 調査の結果

#### 1) 市が実施している取り組みの今後の方向性について（問2）

##### 1. 調査目的

市の財政は非常に厳しい状況が続いており、より一層の事業選択や事業内容の精査を行い、財政健全化を進める必要があることから、市が実施している20の取り組みの今後の方向性について、調査を行った。（20の取り組みは、法律などにより実施が義務付けられておらず、市の判断で行っている各種の助成制度や啓発イベントなどのうち、市が多くの費用を投入しているものから選出。）

##### 2. 結果概要

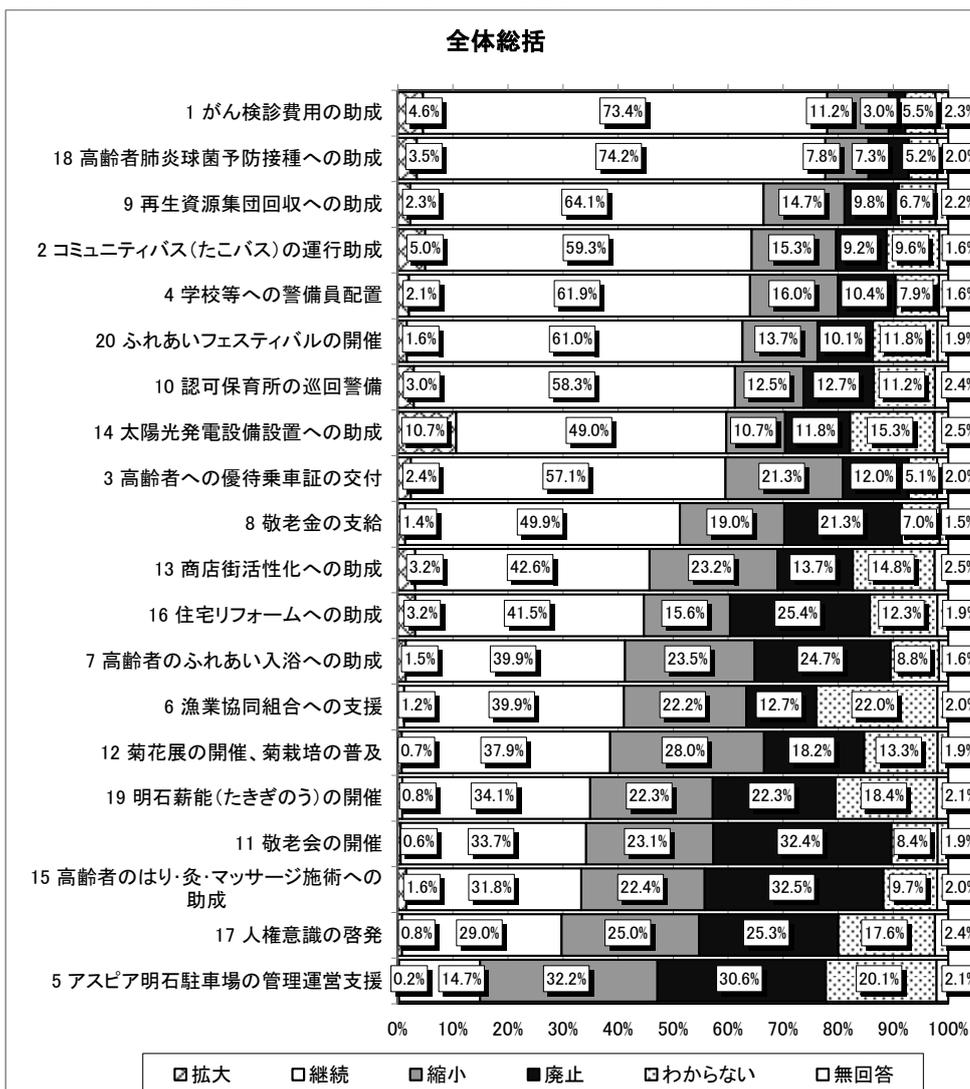
###### (1)全体集計の結果

20の取り組みについて、それぞれ「拡大」、「継続」、「縮小」、「廃止」、「わからない」という選択肢を設けて、今後の方向性を聞いた。

その結果、「拡大」の割合が最も高かったのは「太陽光発電設備設置への助成」であり、「継続」の割合が最も高かったのは「高齢者肺炎球菌予防接種への助成」、次いで「がん検診費用の助成」であった。なお、20のうち18の取り組みで、5つの選択肢のうち「継続」を選択した割合が最も高かった。

一方、「縮小」と回答した割合が最も高かったのは「アスパア明石駐車場の管理運営支援」であり、「廃止」と回答した割合が最も高かったのは、「高齢者のはり・灸・マッサージ施術への助成」、次いで「敬老会の開催」であった（図2-1参照）。

図2-1 市が実施している取り組みの今後の方向性（全体総括）



※表示順は拡大・継続の計が多い順に並べ替え。

次に、「拡大」と「継続」の合計割合で見ると、「がん検診費用の助成」や「高齢者肺炎球菌予防接種への助成」など、特に健康に関する取り組みが上位を占めた（表2-1参照）。

一方、「縮小」と「廃止」の合計割合で見ると、「アスピア明石駐車場の管理運営支援」が特に高かった（表2-2参照）。

表2-1 「拡大」と「継続」の合計の割合が高い順

順位	取り組み	拡大・継続の割合
1	1 がん検診費用の助成	78.0%
2	18 高齢者肺炎球菌予防接種への助成	77.7%
3	9 再生資源集団回収への助成	66.5%
4	2 コミュニティバス（たこバス）の運行助成	64.3%
5	4 学校等への警備員配置	64.0%

表2-2 「縮小」と「廃止」の合計の割合が高い順

順位	取り組み	縮小・廃止の割合
1	5 アスピア明石駐車場の管理運営支援	62.8%
2	11 敬老会の開催	55.5%
3	15 高齢者のはり・灸・マッサージ施術への助成	54.9%
4	17 人権意識の啓発	50.2%
5	7 高齢者のふれあい入浴への助成	48.2%

(2) 「拡大」と「継続」の合計の割合が高い取り組みの年代別の傾向

「がん検診費用の助成」については、20歳代から50歳代の各年代で、「拡大」と「継続」の合計の割合が20の取り組みのうち最も高く、80%を超える結果となった。

「高齢者肺炎球菌予防接種への助成」については、60歳代と70歳代で、「拡大」と「継続」の合計の割合が20の取り組みのうち最も高かった。

「再生資源集団回収への助成」や「コミュニティバス（たこバス）の運行助成」については、どの年代においても、「拡大」と「継続」の合計の割合が高い傾向にあった。

「学校等への警備員配置」については、30歳代や40歳代など比較的若い世代で、「拡大」と「継続」の合計の割合が高かった。

(3) 「縮小」と「廃止」の合計の割合が高い取り組みの年代別の傾向

「アスピア明石駐車場の管理運営支援」については、60歳代以下のすべての年代で、「縮小」と「廃止」の合計の割合が、20の取り組みのうち最も高かった。

「敬老会の開催」については、70歳代と80歳以上の年代で、「縮小」と「廃止」の合計の割合が、20の取り組みのうち最も高く、60歳代以下の各年代においても、高い傾向にあった。

「高齢者のはり・灸・マッサージ施術への助成」については、20歳代から70歳代の各年代において、「縮小」と「廃止」の合計の割合が20の取り組みのうち3番目以内に入るなど、高い割合を示した。

「人権意識の啓発」については、20歳代から60歳代の各年代で、「縮小」と「廃止」の合計の割合が比較的高い傾向にあった。

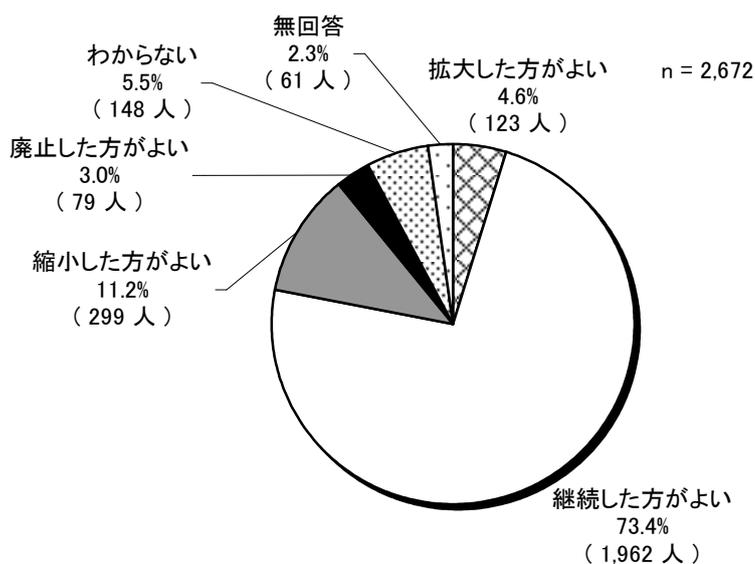
「高齢者のふれあい入浴への助成」については、どの年代においても、「縮小」と「廃止」の合計の割合が比較的高い傾向にあった。

### 3. 各設問の集計結果

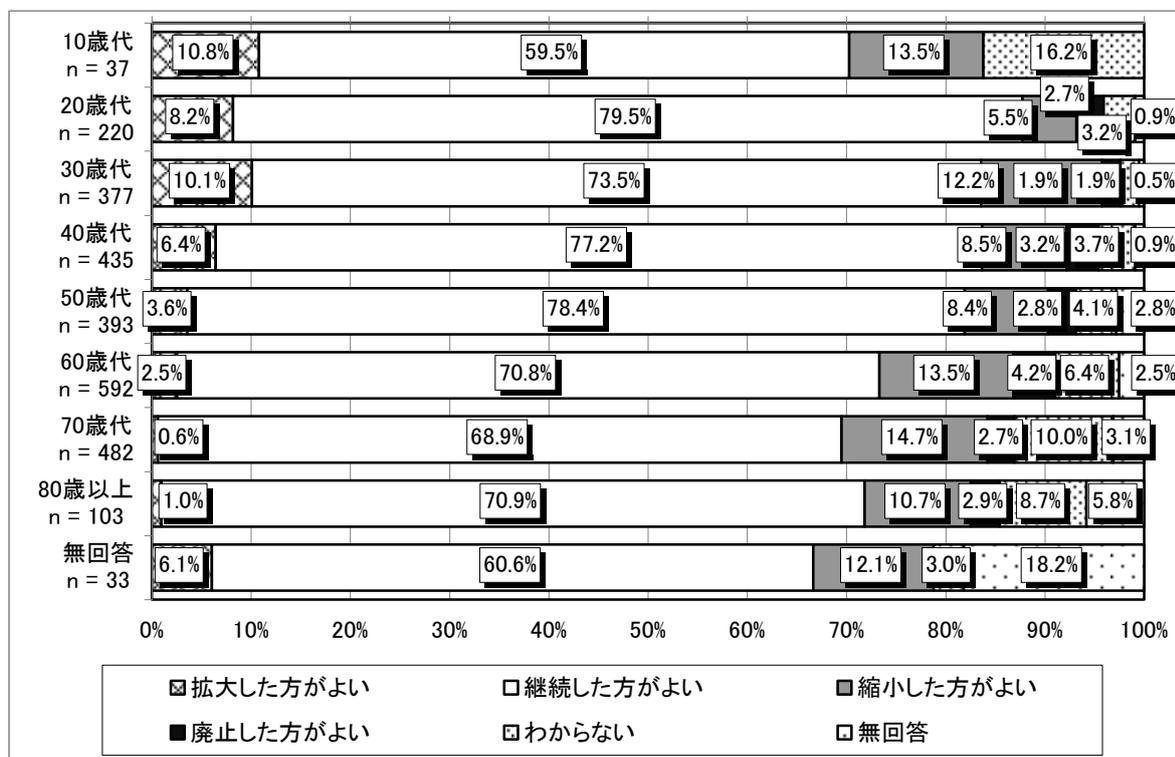
#### 問2-1 がん検診費用の助成

##### ①全体集計

「継続した方がよい」が最も多く 73.4%であり、「拡大・継続した方がよい」という意見が約8割を占めた。



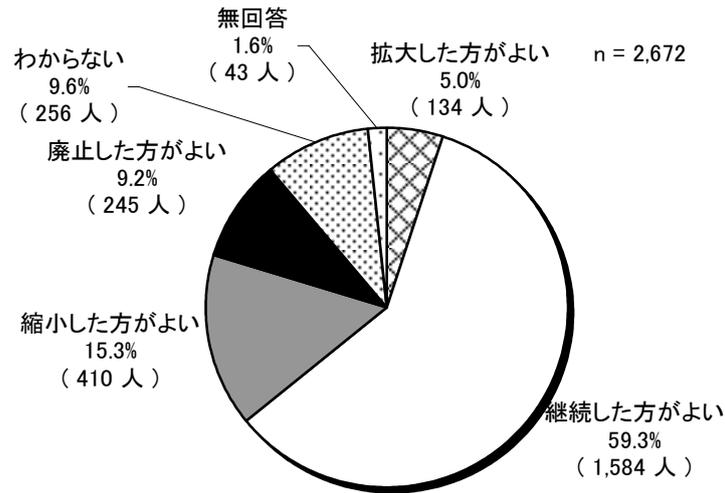
##### ②年代別集計



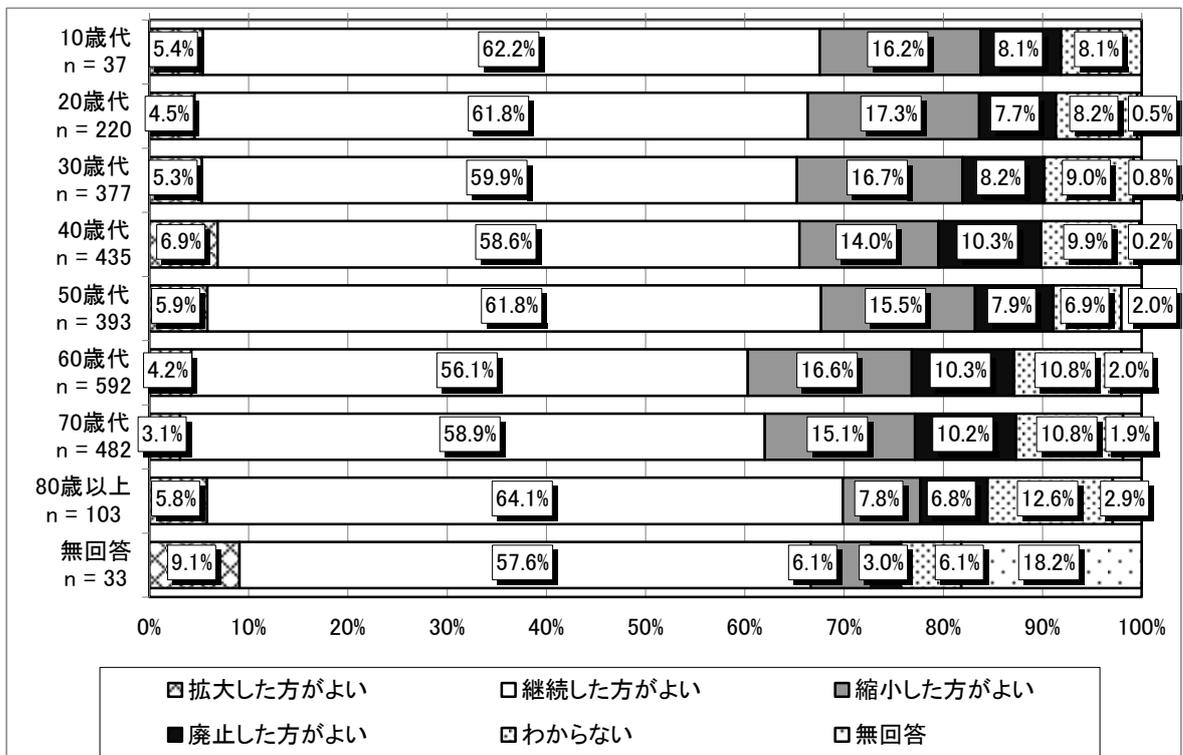
問2-2 コミュニティバス（たこバス）の運行助成

①全体集計

「継続した方がよい」が最も多く 59.3%であり、「拡大・継続した方がよい」という意見が約 6.5 割を占めた。



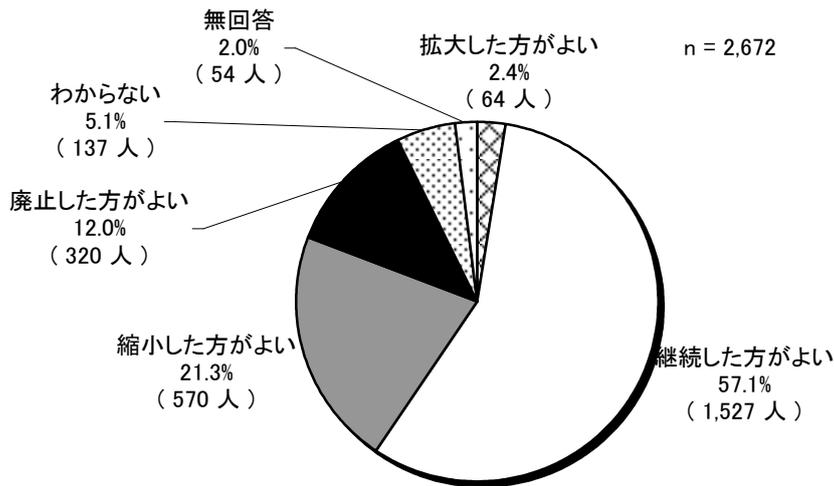
②年代別集計



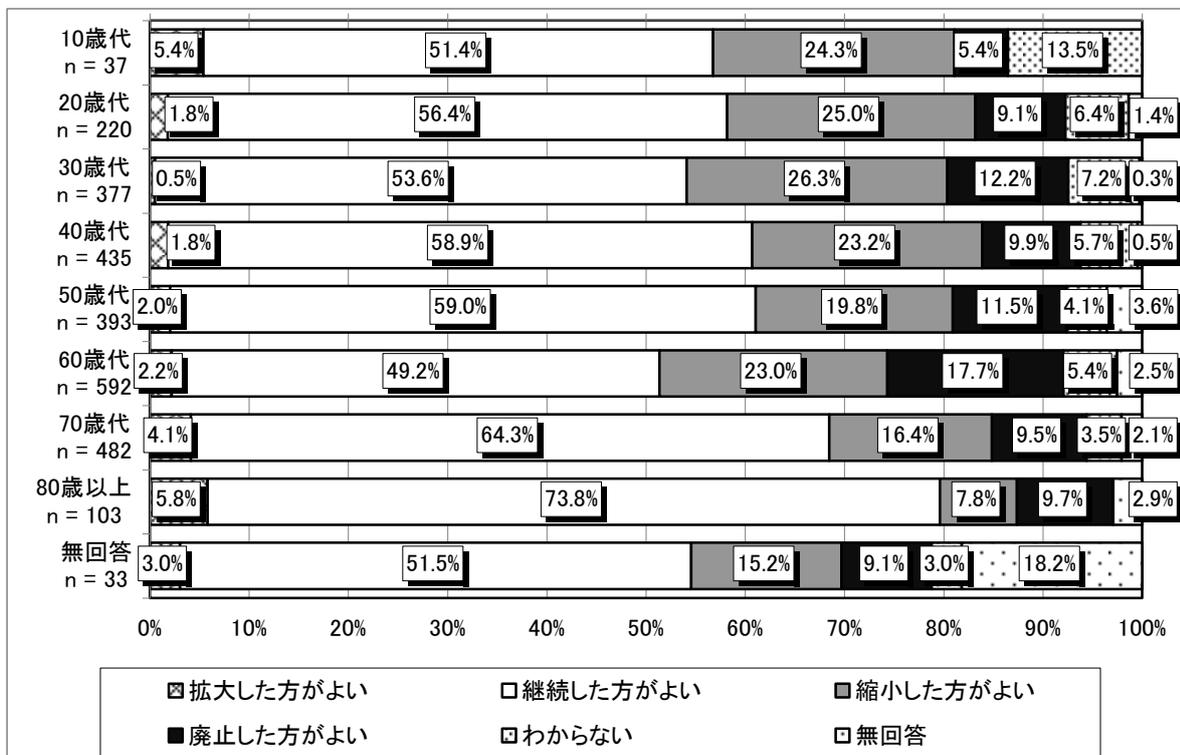
問 2 - 3 高齢者への優待乗車証の交付

① 全体集計

「継続した方がよい」が最も多く 57.1%であり、「拡大・継続した方がよい」という意見が約 6 割を占めた。



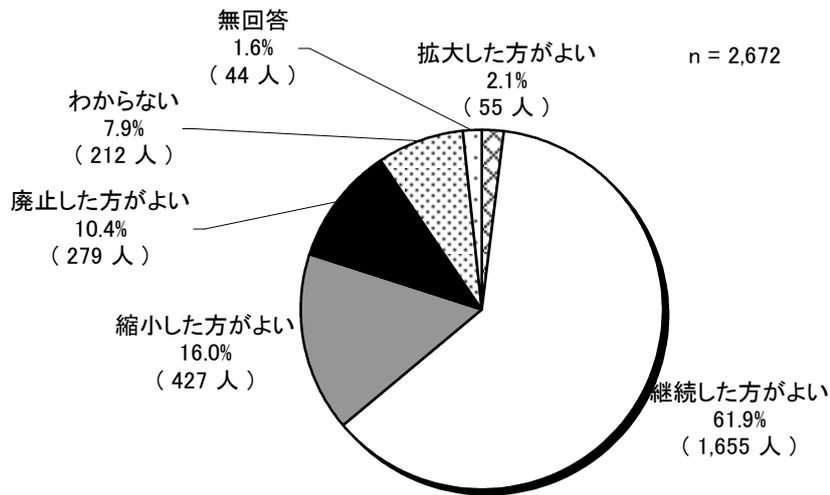
②年代別集計



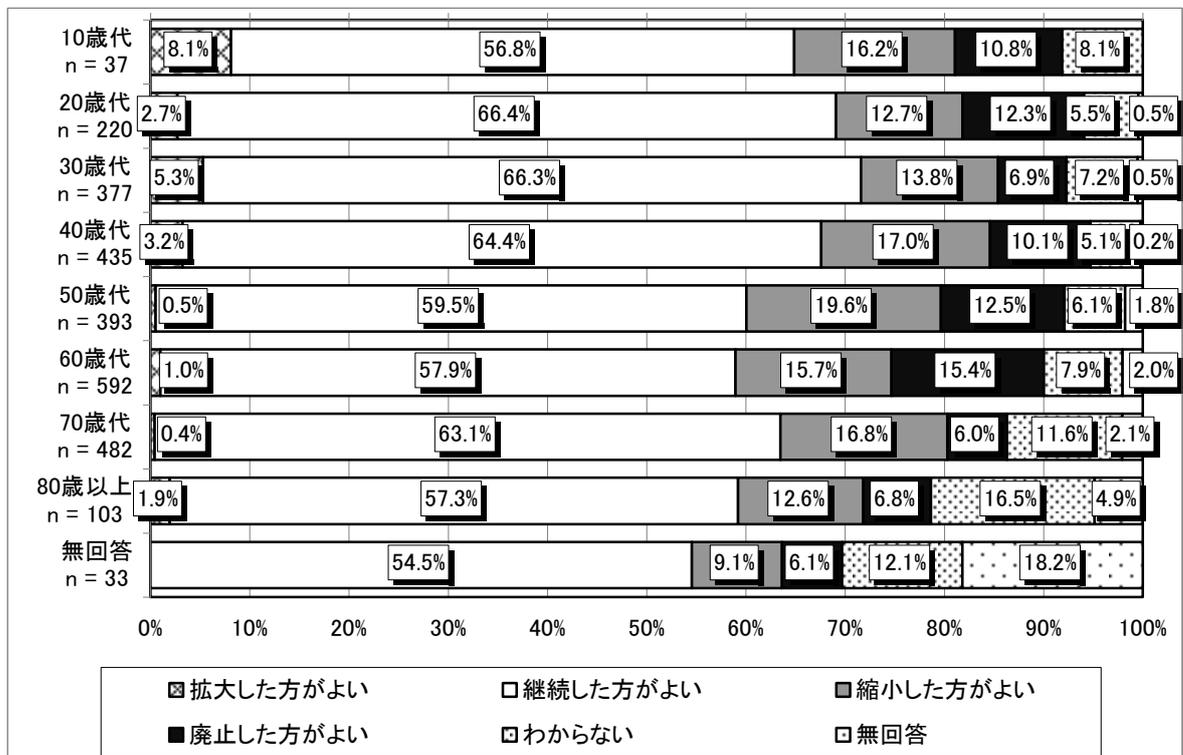
問 2 - 4 学校等への警備員配置

①全体集計

「継続した方がよい」が最も多く 61.9%であり、「拡大・継続した方がよい」という意見が約 6.5 割を占めた。



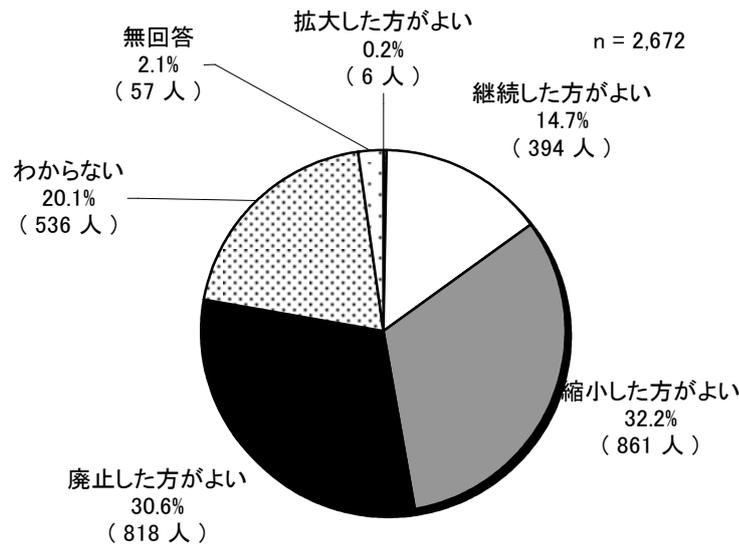
②年代別集計



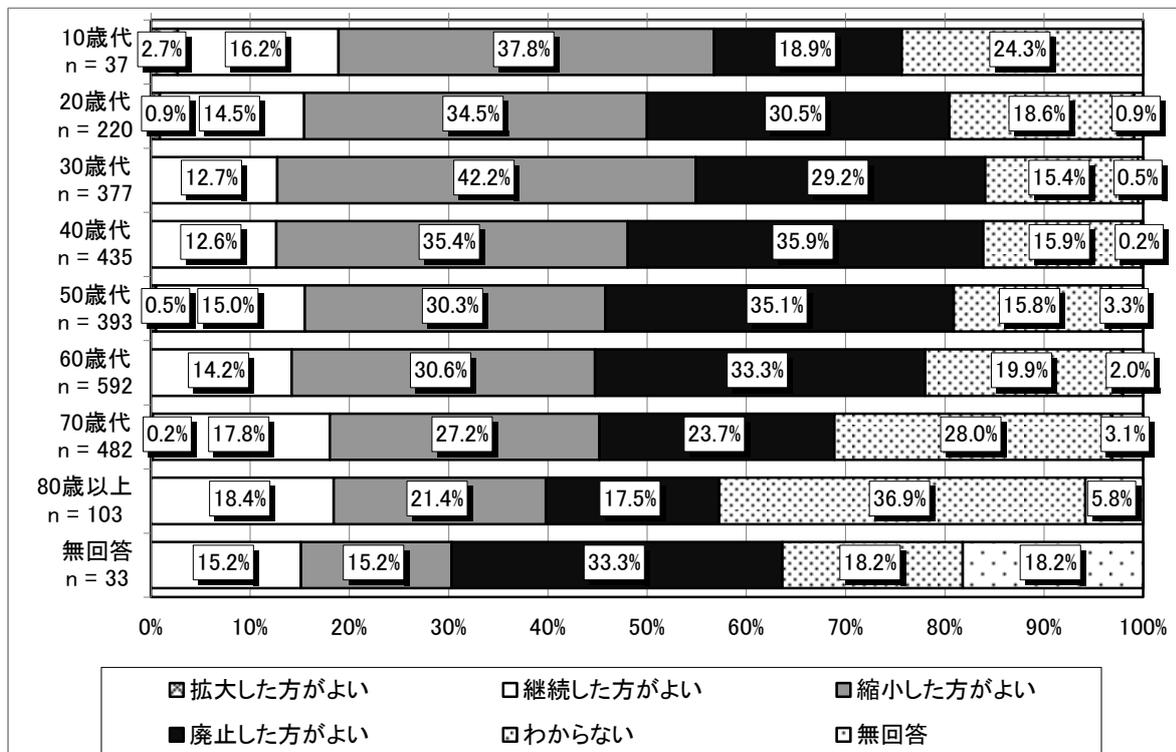
問 2 - 5 アスピア明石駐車場の管理運営支援

①全体集計

「縮小した方がよい」が最も多く 32.2%であり、「縮小・廃止した方がよい」という意見が約 6.5 割を占めた。



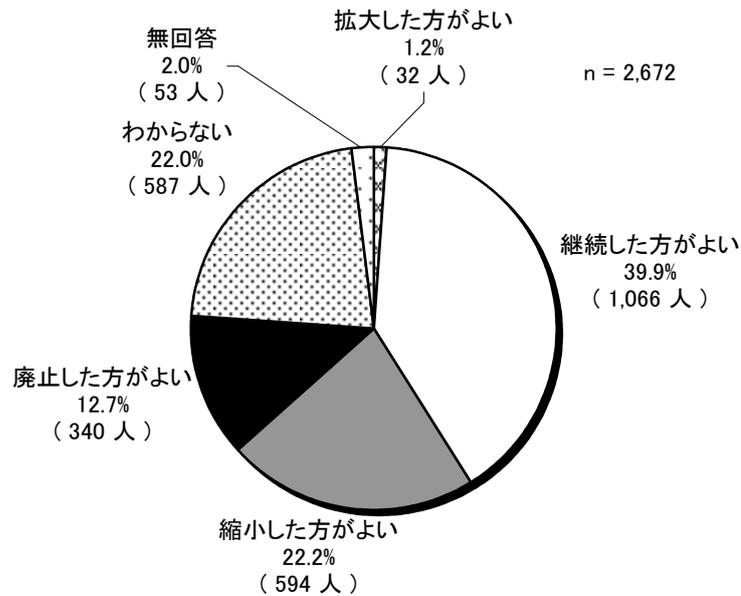
②年代別集計



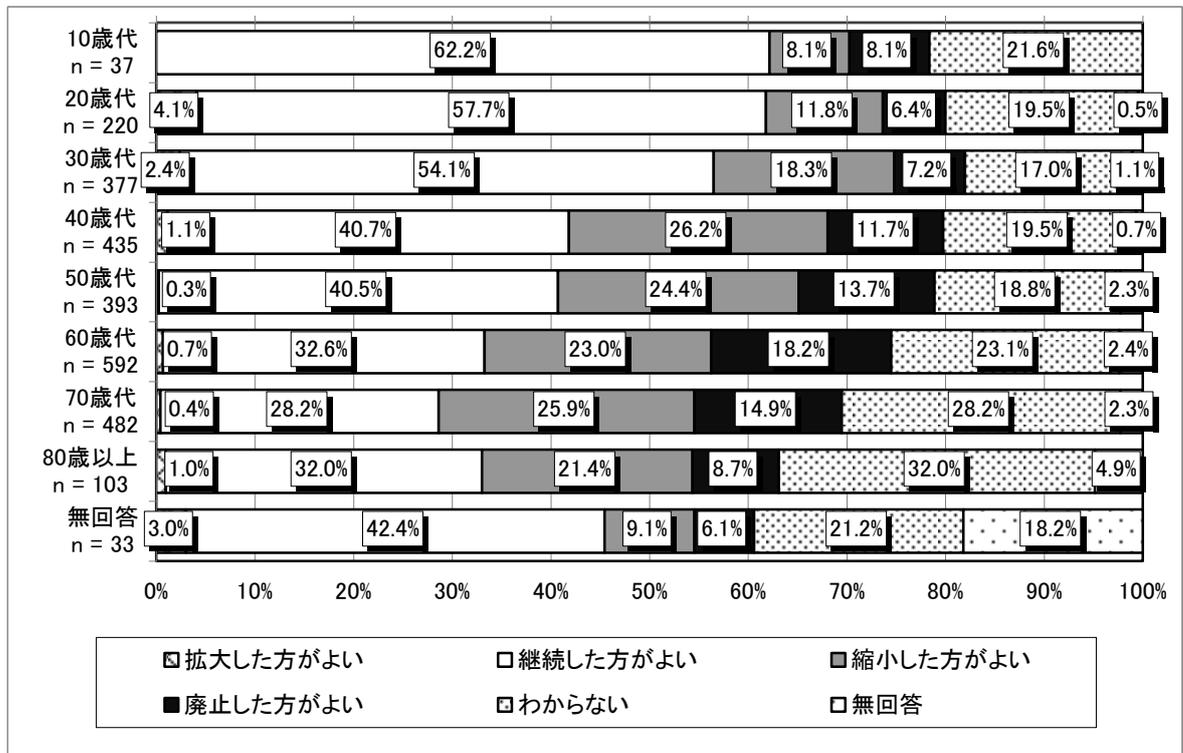
問 2 - 6 漁業協同組合への支援

①全体集計

「継続した方がよい」が最も多く 39.9%であり、「拡大・継続した方がよい」という意見が約 4 割を占めた。一方で、「縮小・廃止した方がよい」という意見も約 3.5 割あった。



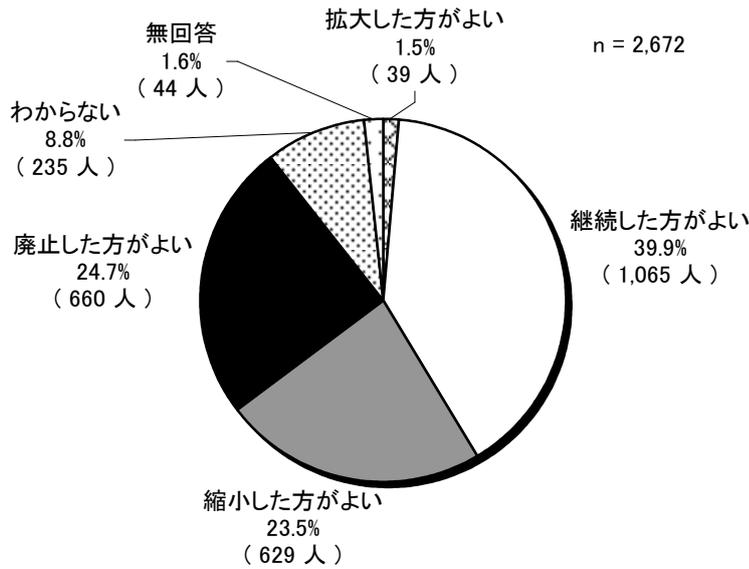
②年代別集計



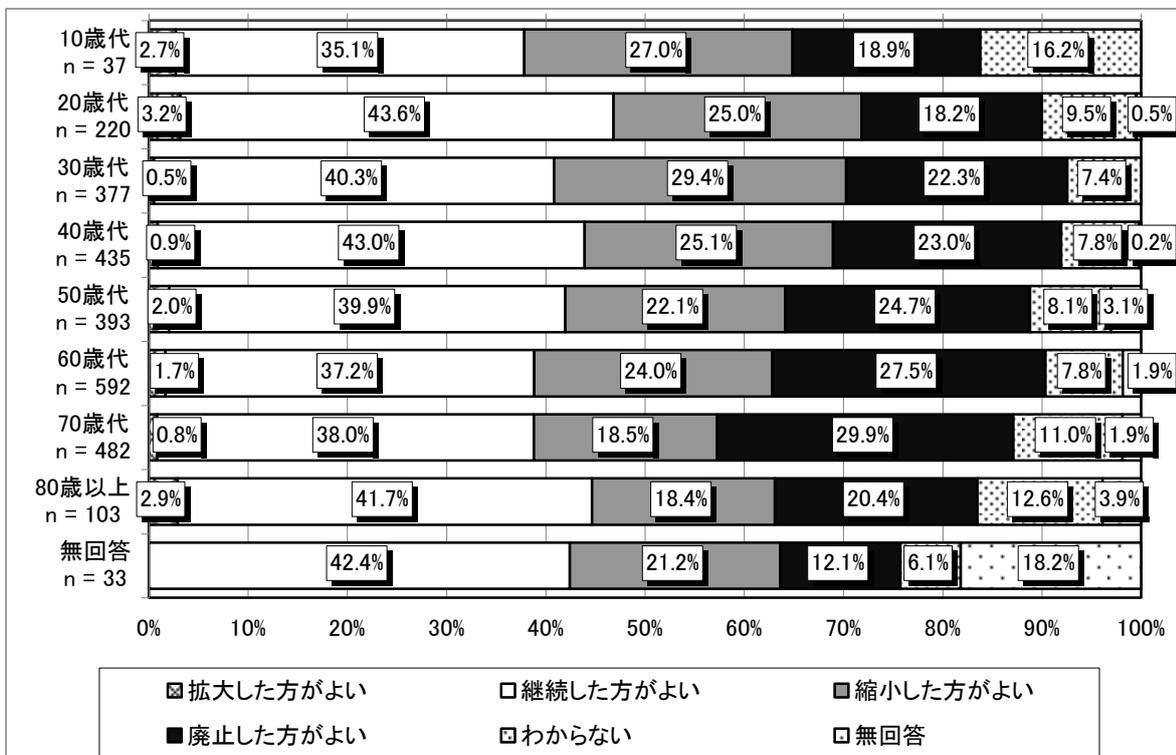
問 2-7 高齢者のふれあい入浴への助成

①全体集計

「継続した方がよい」が最も多く 39.9%であり、「拡大・継続した方がよい」という意見が約 4 割であった。一方で、「縮小・廃止した方がよい」という意見が約 5 割を占めた。



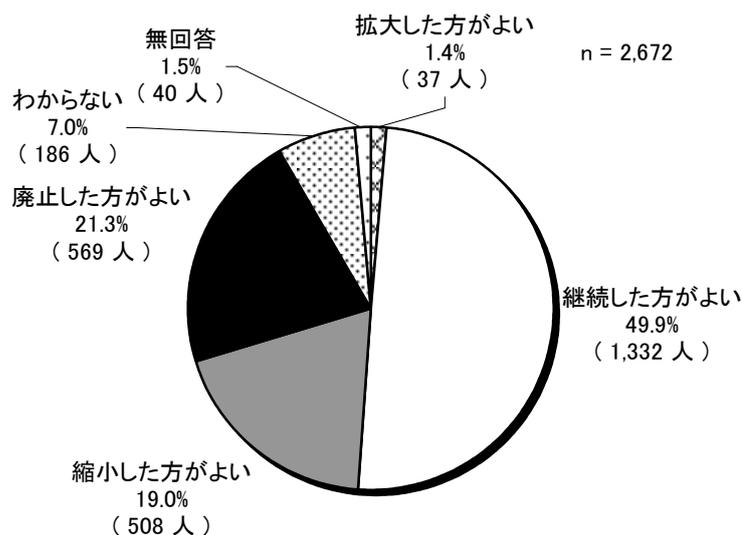
②年代別集計



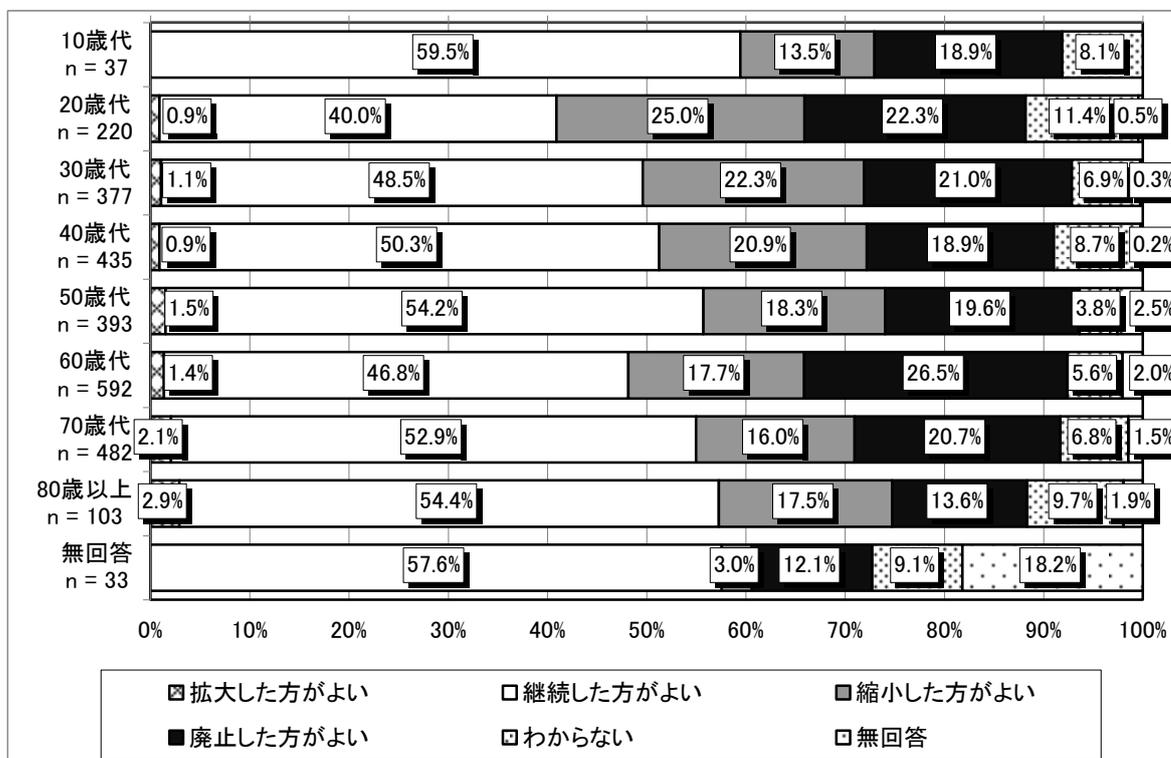
問 2 - 8 敬老金の支給

①全体集計

「継続した方がよい」が最も多く 49.9%であり、「拡大・継続した方がよい」という意見が約 5 割を占めた。一方で、「縮小・廃止した方がよい」という意見も約 4 割あった。



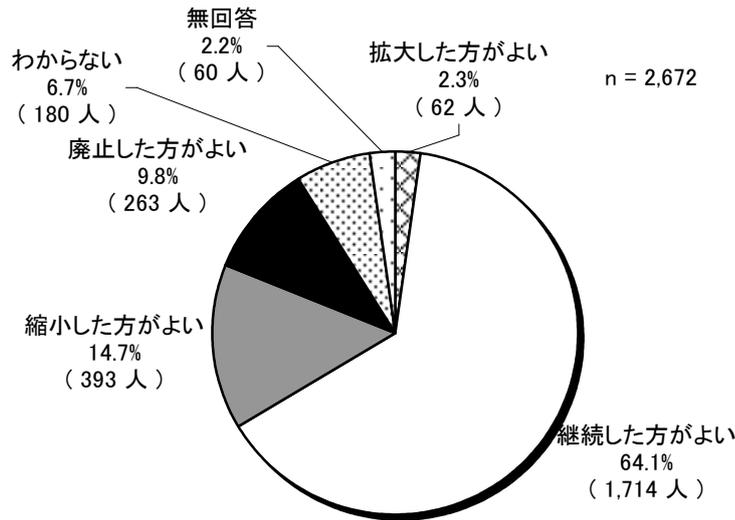
②年代別集計



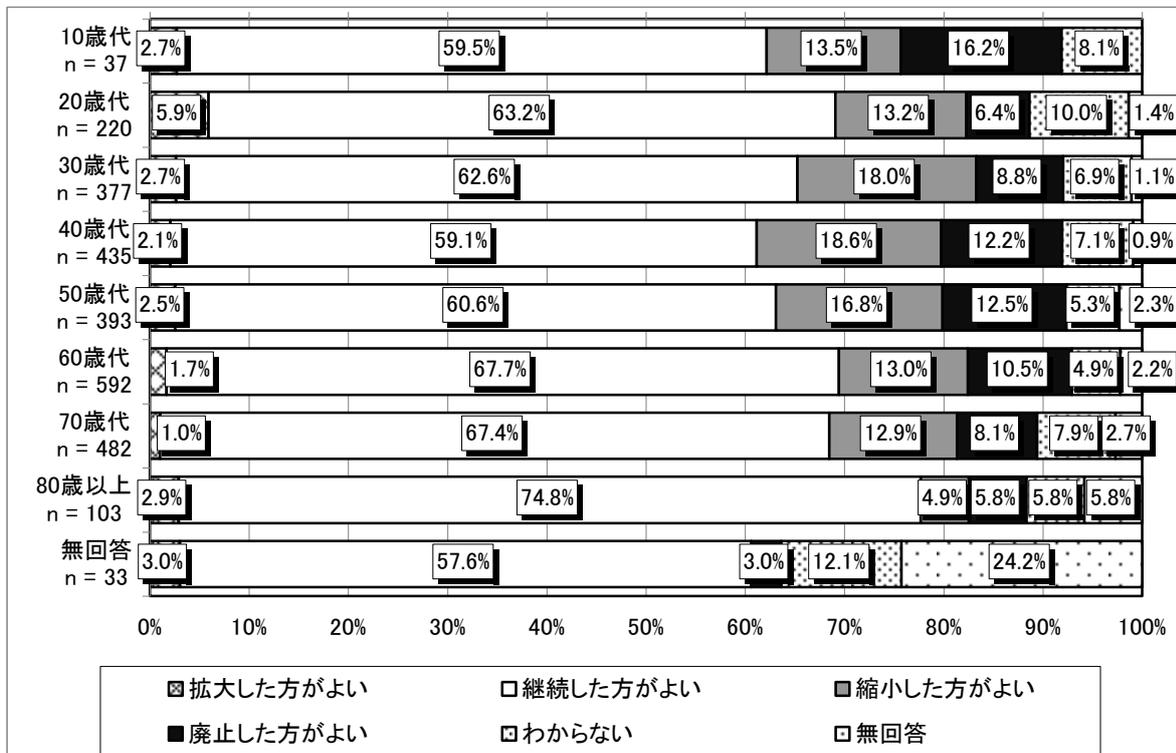
問 2 - 9 再生資源集団回収への助成

①全体集計

「継続した方がよい」が最も多く 64.1%であり、「拡大・継続した方がよい」という意見が約 6.5 割を占めた。



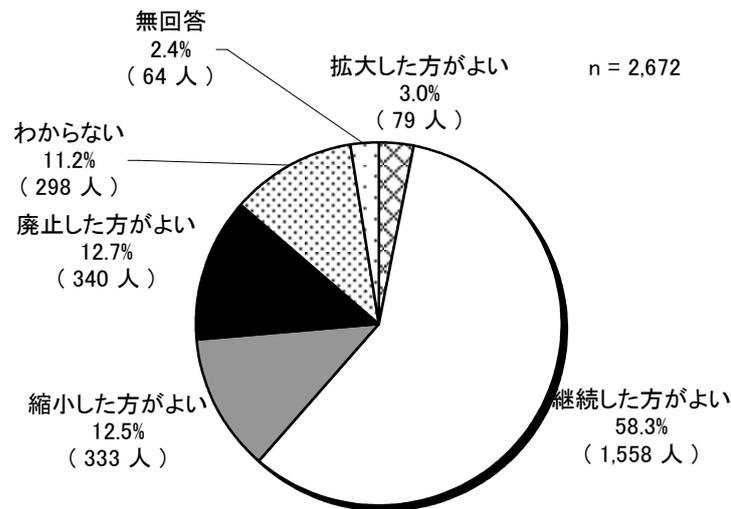
②年代別集計



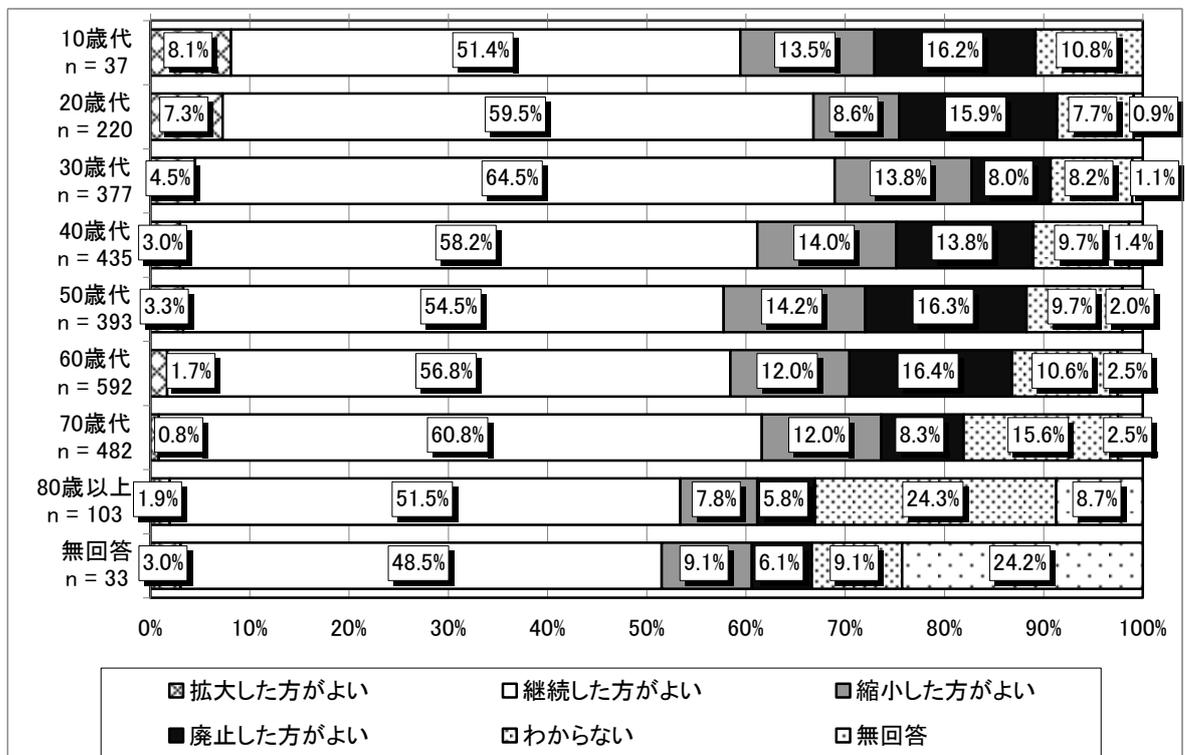
問2-10 認可保育所の巡回警備

①全体集計

「継続した方がよい」が最も多く 58.3%であり、「拡大・継続した方がよい」という意見が約6割を占めた。



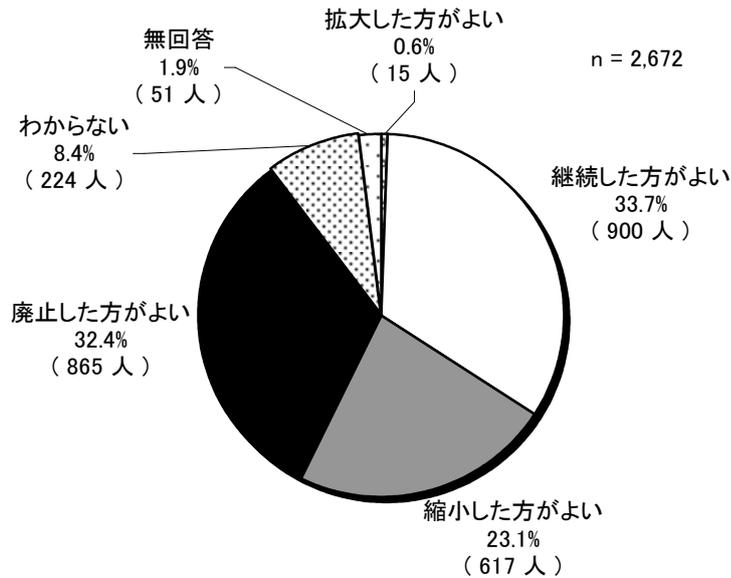
②年代別集計



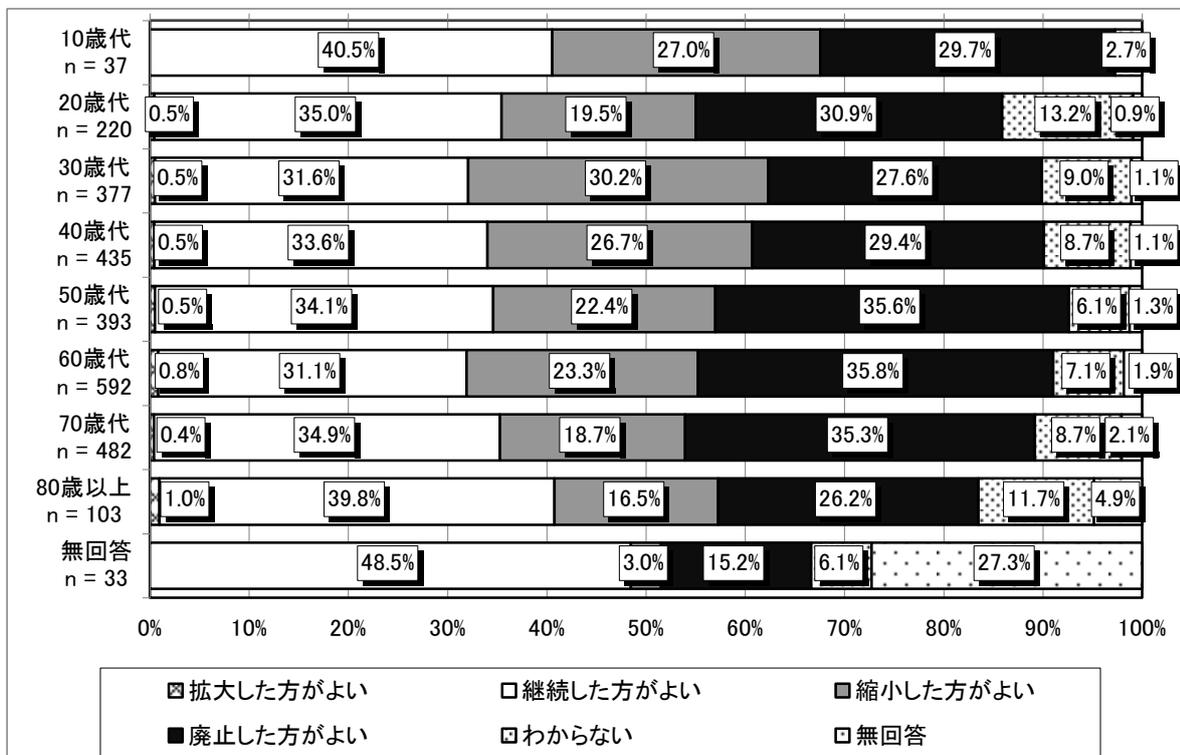
問 2-11 敬老会の開催

①全体集計

「継続した方がよい」が最も多く 33.7%であり、「拡大・継続した方がよい」という意見が約 3.5 割であった。一方で、「縮小・廃止した方がよい」という意見が約 5.5 割を占めた。



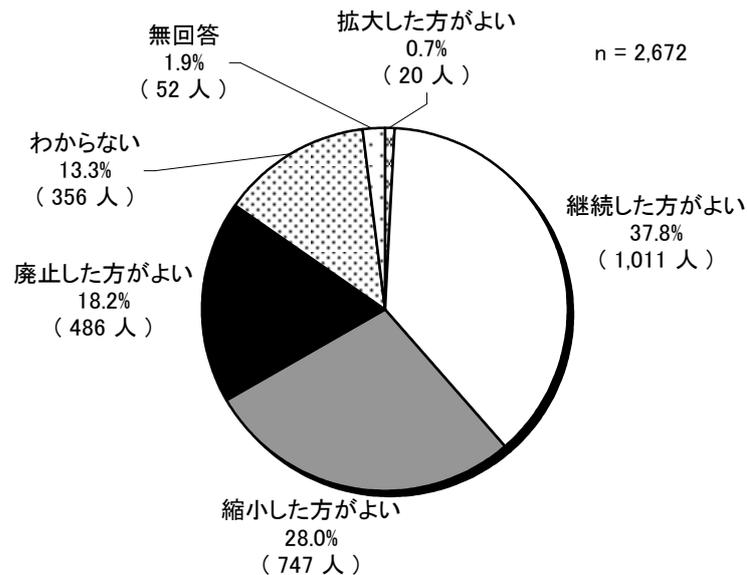
②年代別集計



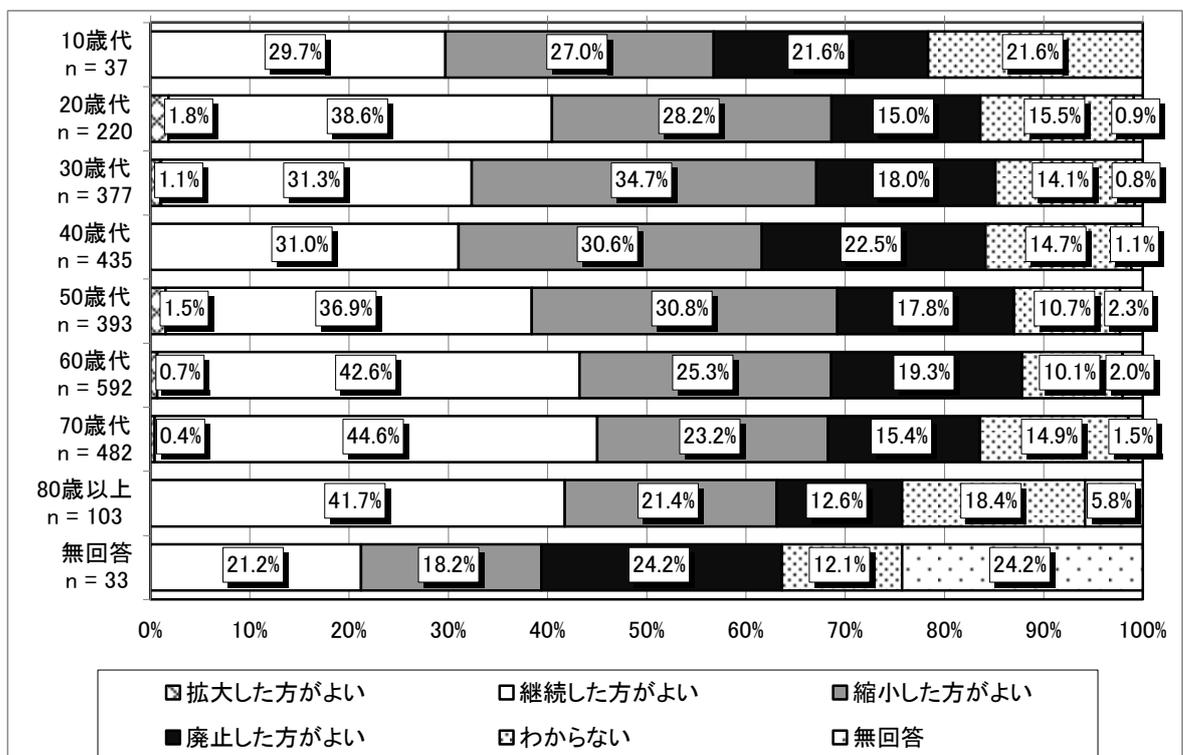
問2-12 菊花展の開催、菊栽培の普及

①全体集計

「継続した方がよい」が最も多く 37.8%であり、「拡大・継続した方がよい」という意見が約4割であった。一方で、「縮小・廃止した方がよい」という意見が約4.5割を占めた。



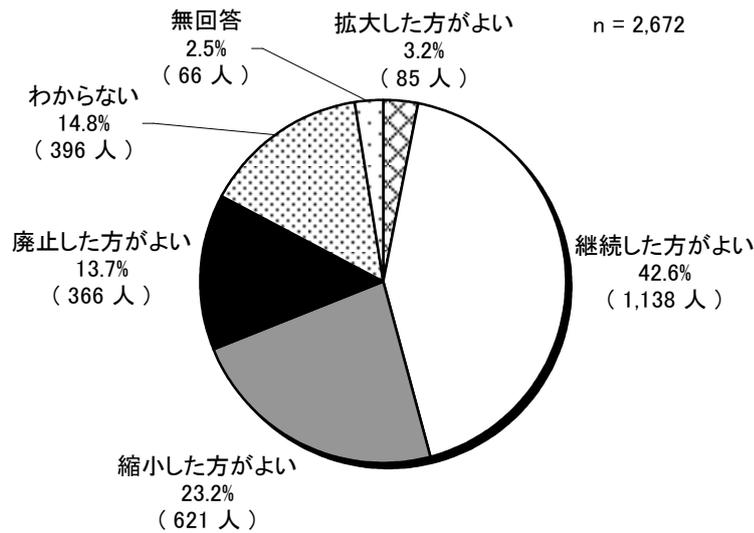
②年代別集計



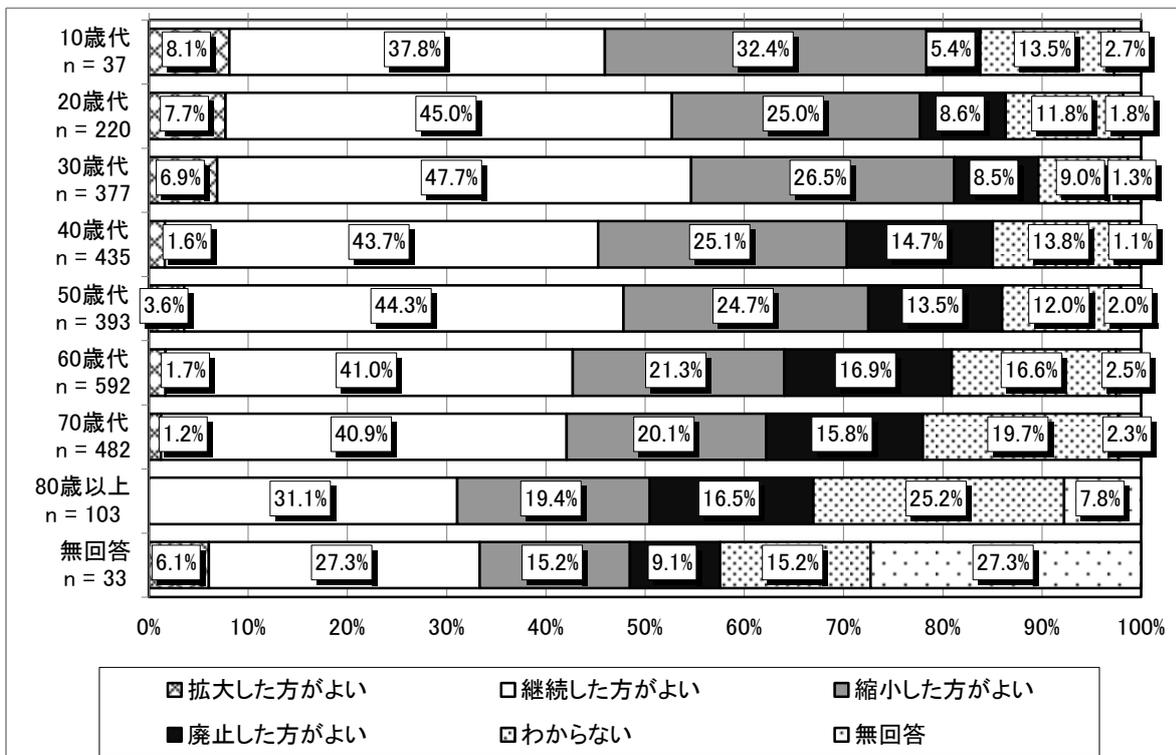
問 2-13 商店街活性化への助成

①全体集計

「継続した方がよい」が最も多く 42.6%であり、「拡大・継続した方がよい」という意見が約 4.5 割を占めた。一方で、「縮小・廃止した方がよい」という意見も約 3.5 割あった。



②年代別集計

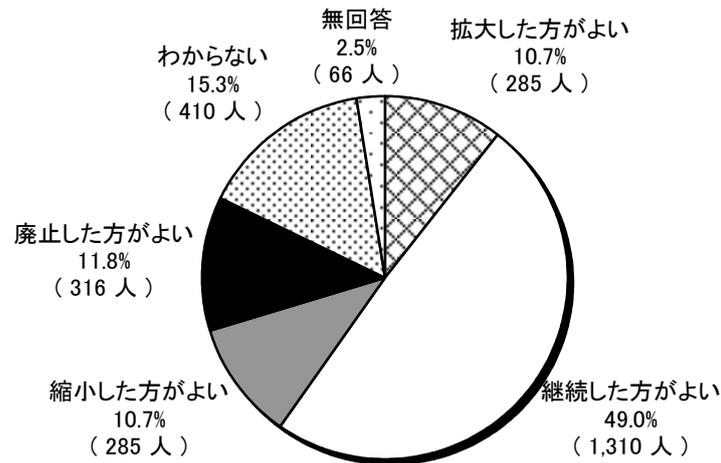


問 2 - 14 太陽光発電設備設置への助成

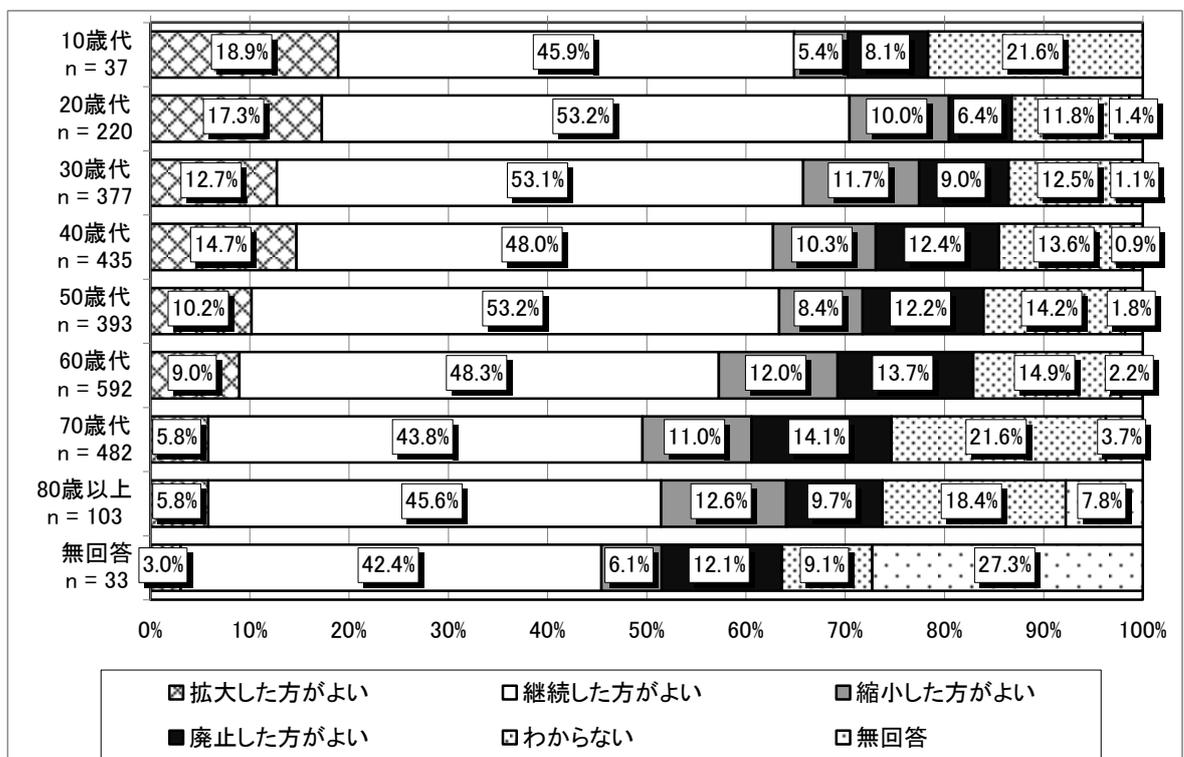
①全体集計

「継続した方がよい」が最も多く 49.0%であり、「拡大・継続した方がよい」という意見が約 6 割を占めた

n = 2,672



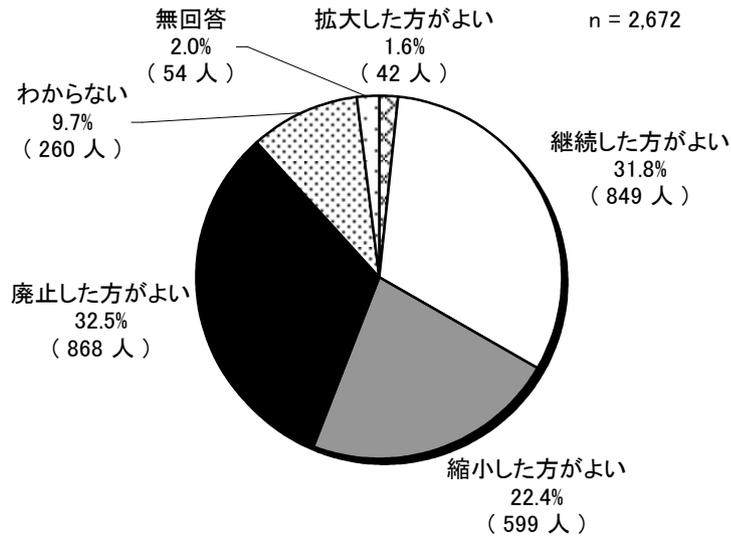
②年代別集計



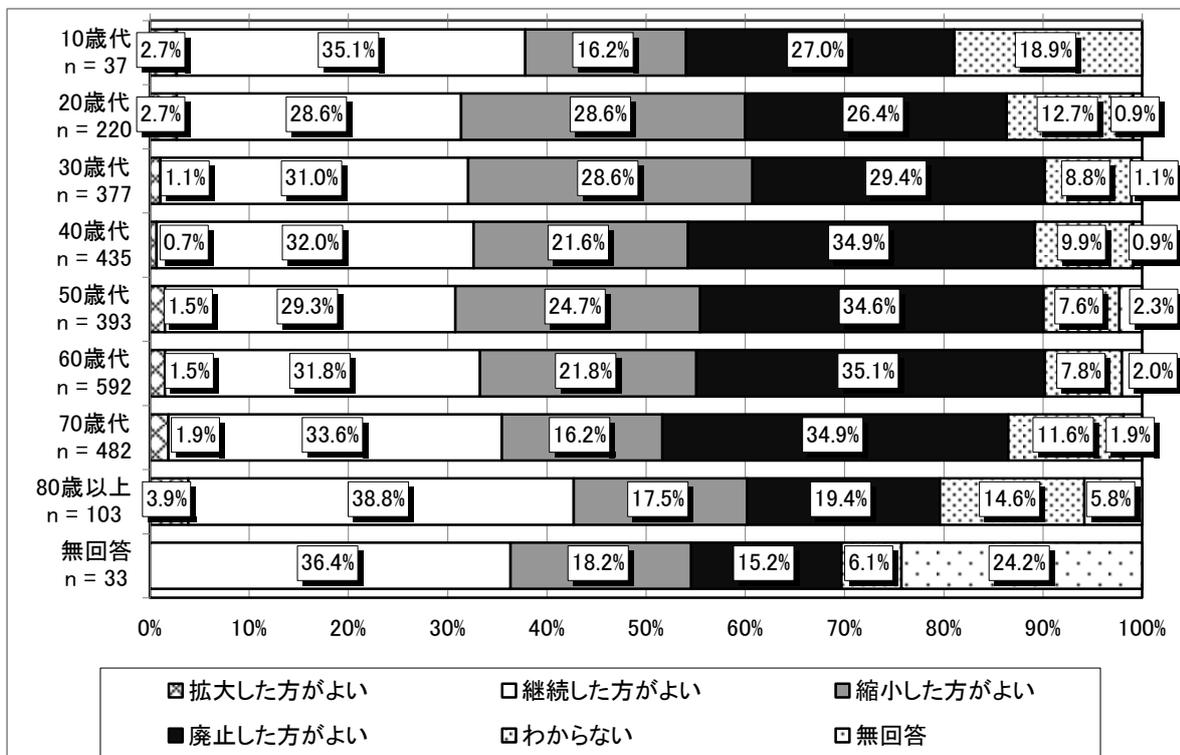
問2-15 高齢者のはり・灸・マッサージ施術への助成

①全体集計

「廃止した方がよい」が最も多く 32.5%であり、「縮小・廃止した方がよい」という意見が約 5.5 割を占めた。



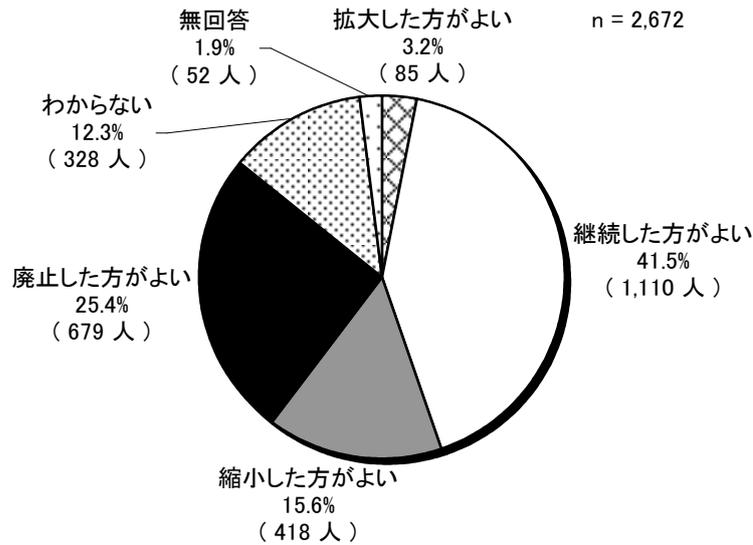
②年代別集計



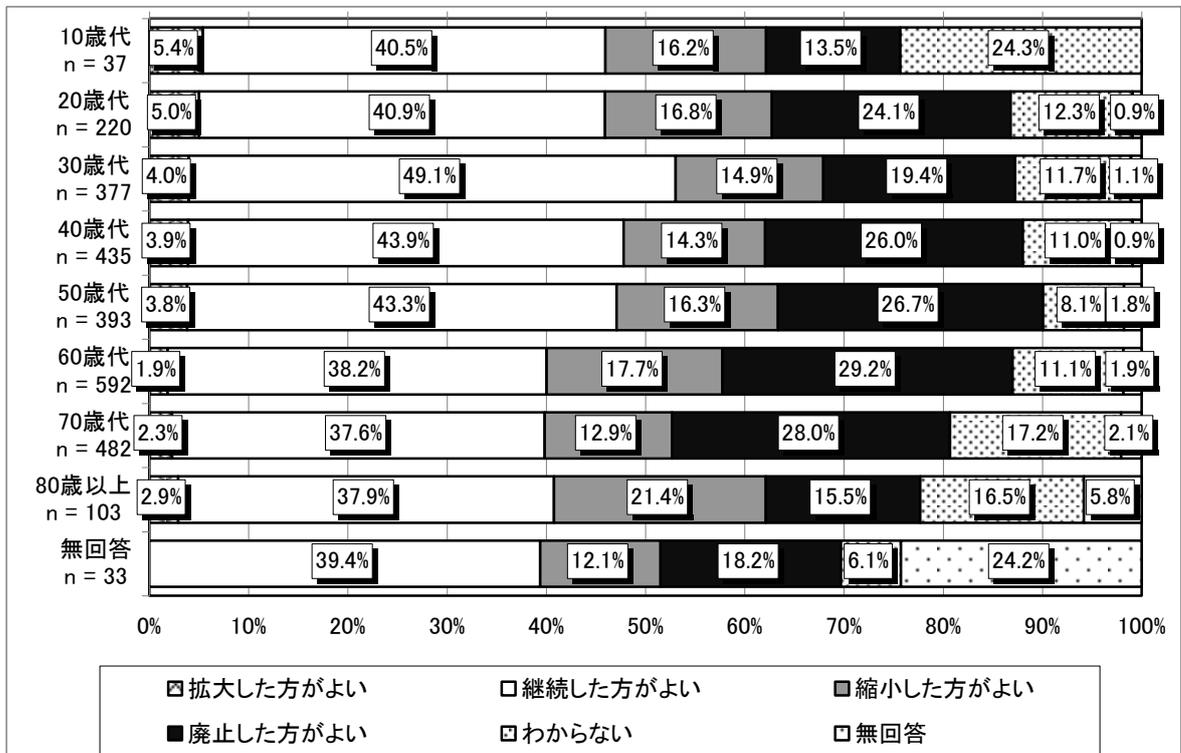
問2-16 住宅リフォームへの助成

①全体集計

「継続した方がよい」が最も多く 41.5%であり、「拡大・継続した方がよい」という意見が約 4.5 割を占めた。一方で、「縮小・廃止した方がよい」という意見も約 4 割あった。



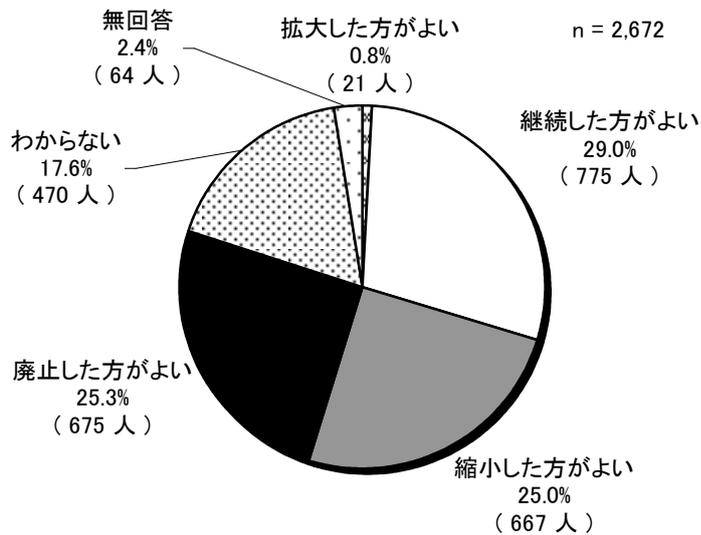
②年代別集計



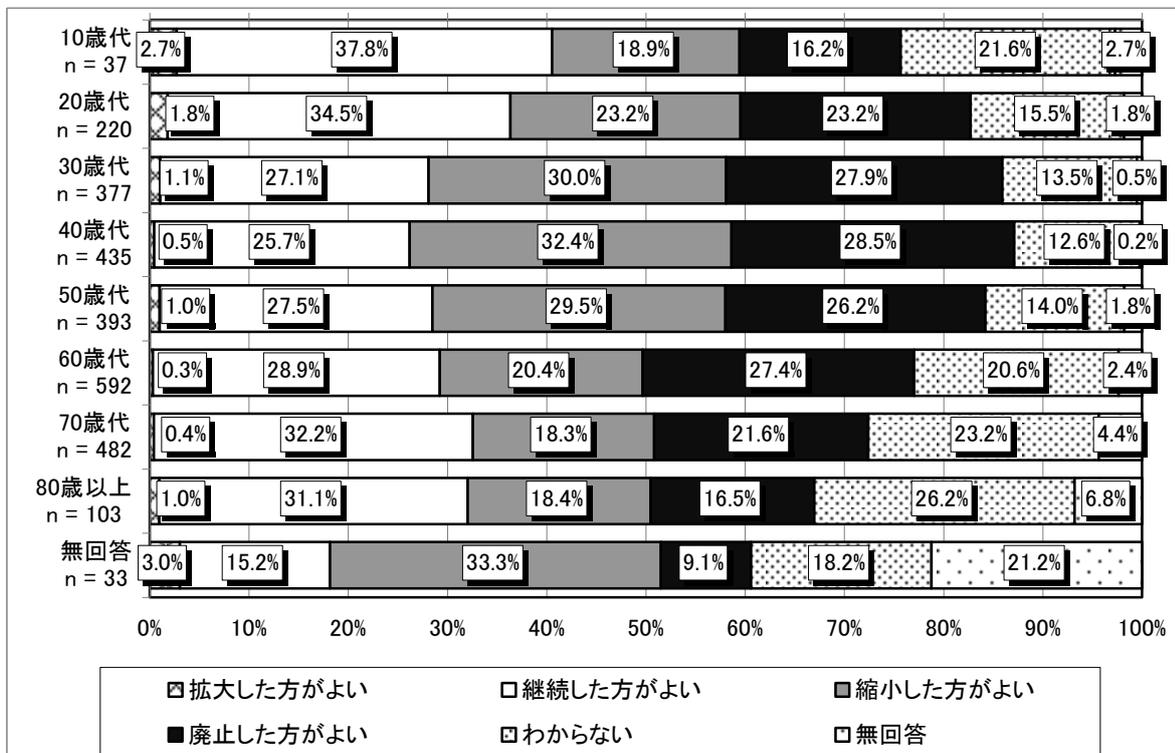
問2-17 人権意識の啓発

①全体集計

「継続した方がよい」が最も多く 29%であり、「拡大・継続した方がよい」という意見は約3割であった。一方で、「縮小・廃止した方がよい」という意見が約5割を占めた。



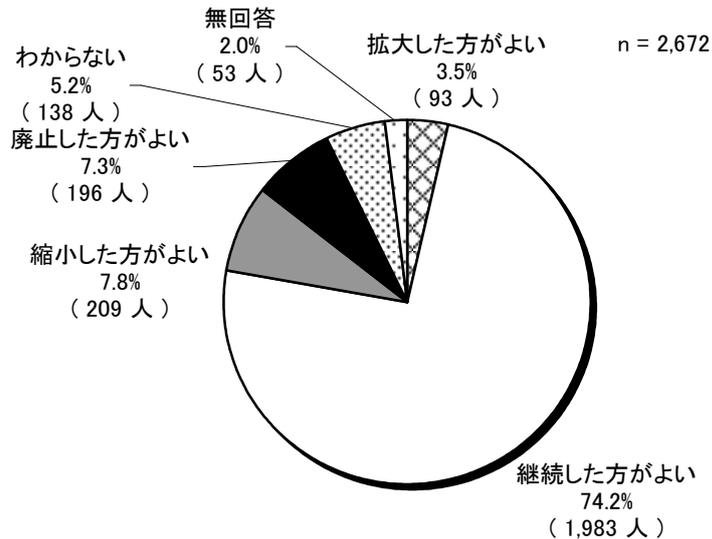
②年代別集計



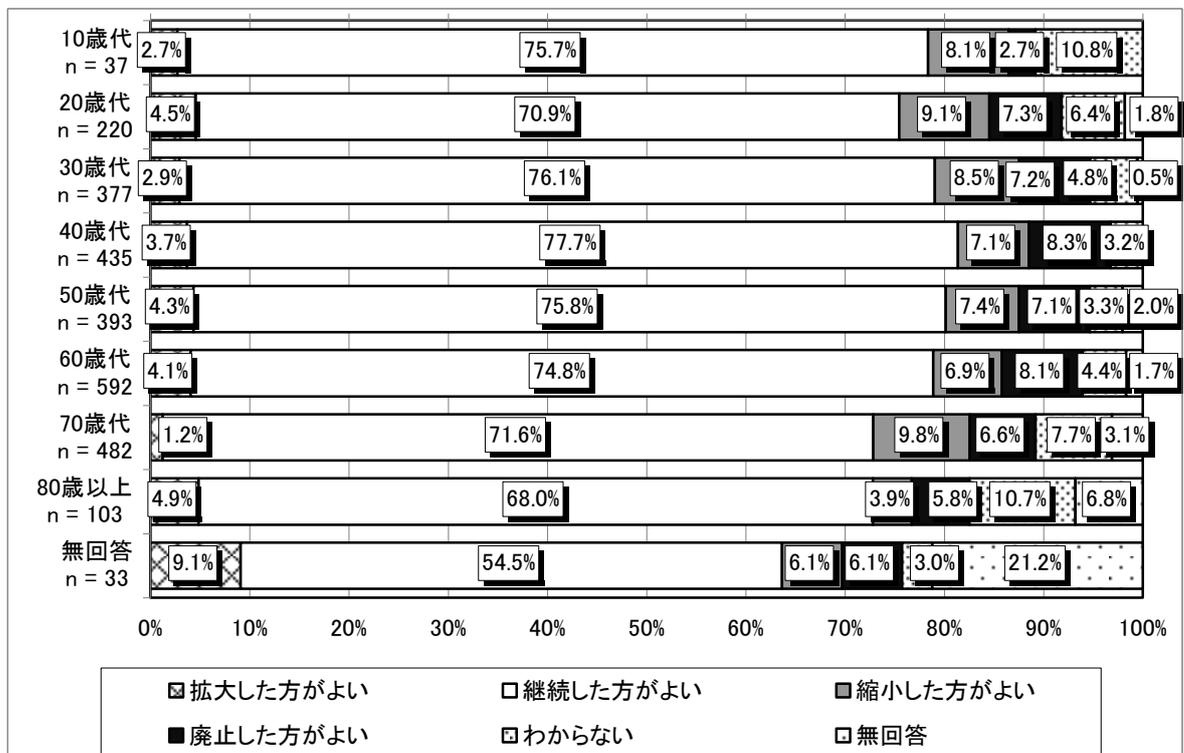
問2-18 高齢者肺炎球菌予防接種への助成

①全体集計

「継続した方がよい」が最も多く 74.2%であり、「拡大・継続した方がよい」という意見が約8割を占めた。



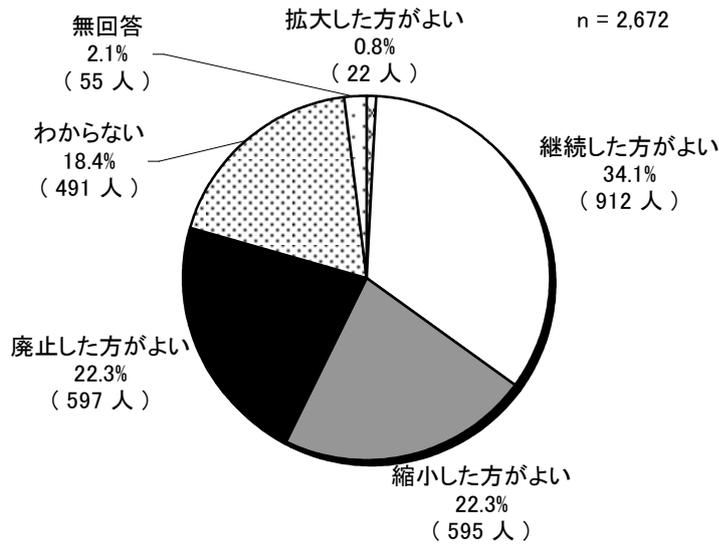
②年代別集計



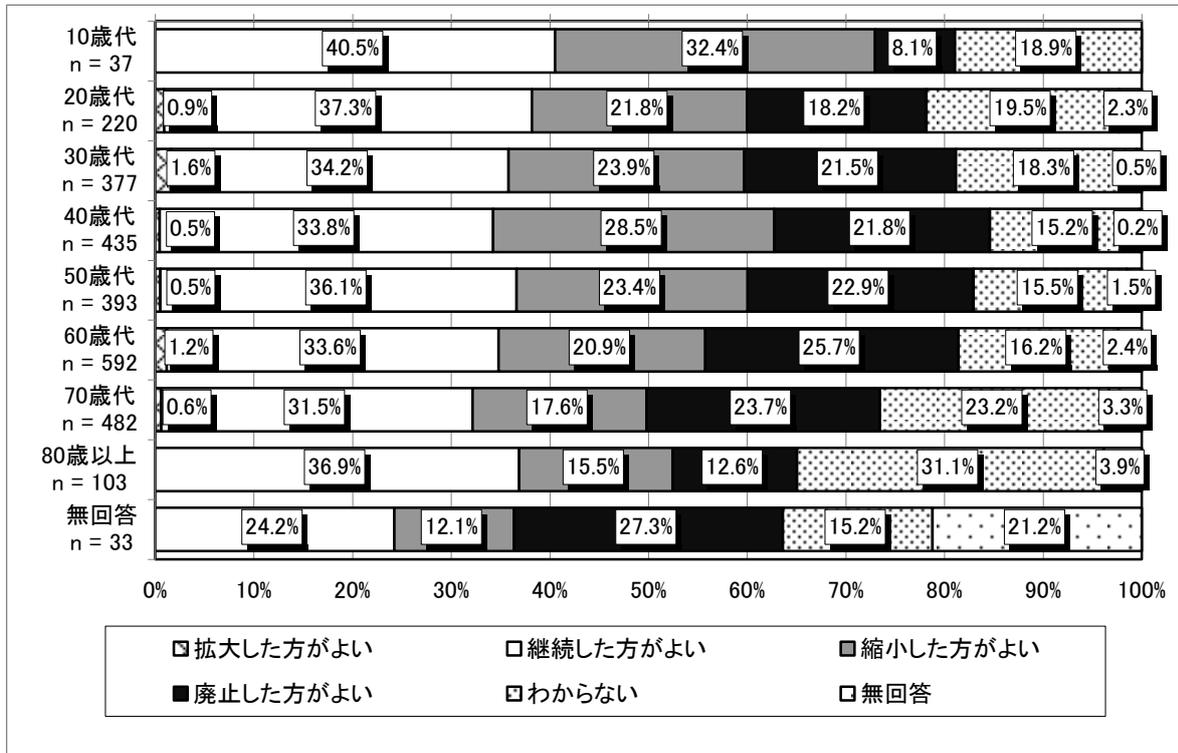
問2-19 明石薪能（たきぎのう）の開催

①全体集計

「継続した方がよい」が最も多く 34.1%であり、「拡大・縮小した方がよい」という意見は約 3.5 割であった。一方で、「縮小・廃止した方がよい」という意見が約 4.5 割を占めた。



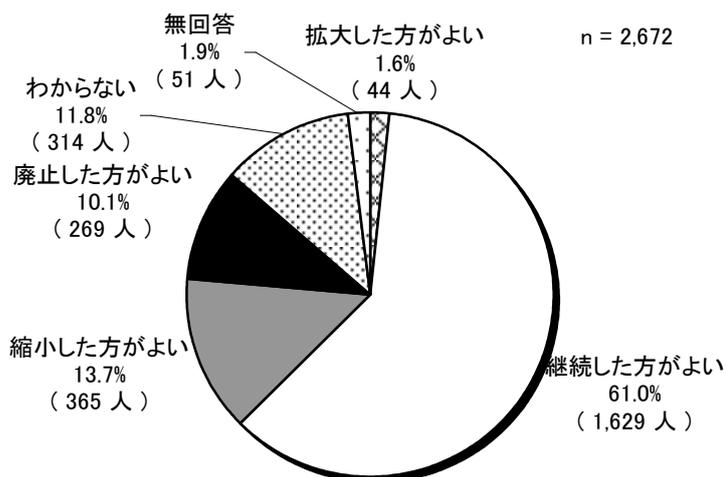
②年代別集計



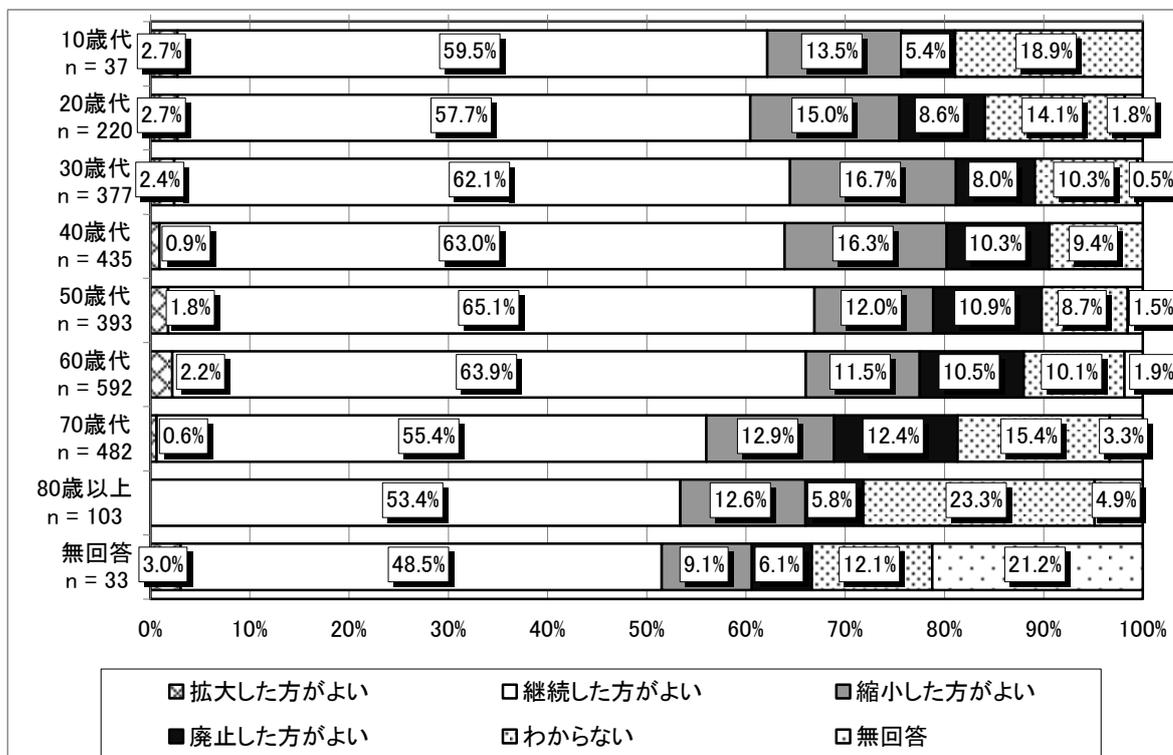
問2-20 ふれあいフェスティバルの開催

①全体集計

「継続した方がよい」が最も多く 61.0%であり、「拡大・継続した方がよい」という意見が約 6.5 割を占めた。



②年代別集計



### Ⅲ 調査結果の概要

#### 2) まちの住みやすさなどについて（問3）

##### 1. 調査目的

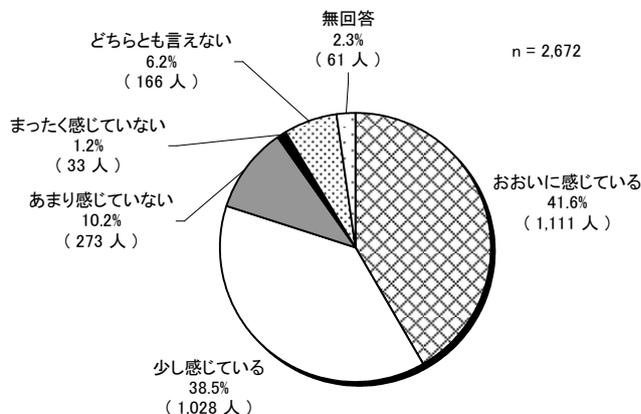
明石のまちへの思いや市が進めている施策に関する市民意識について、市全体のまちづくりの進捗状況を把握するため、調査を行った。

なお、明石市第5次長期総合計画では、特に若い世代の定住・転入を図ることにより、現在の人口を概ね維持していくことを目標として掲げていることから、40歳代以下の若い世代について、中学生以下の子どもがいる世帯と子どもがいない世帯に分けて、集計を行った。

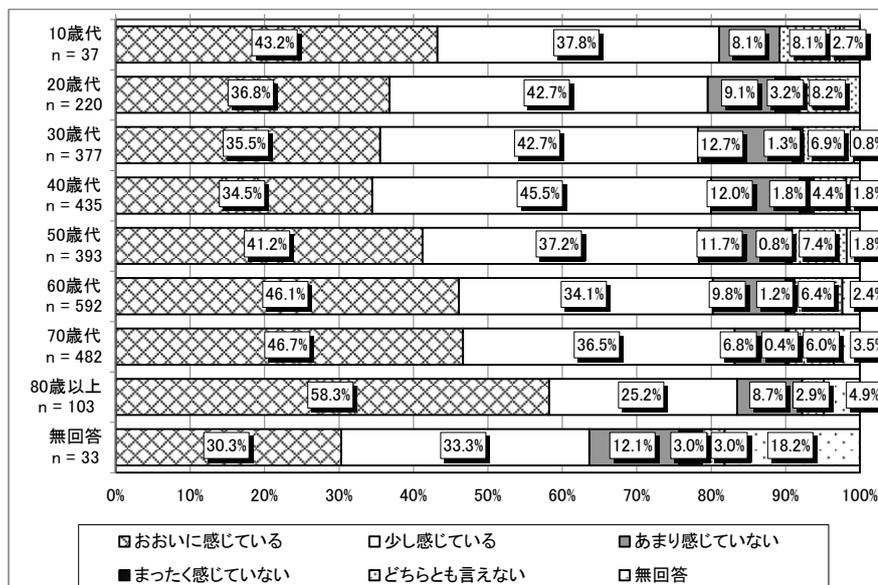
##### 2. 各設問の集計結果

#### 問3-1. 明石のまちに愛着を感じていますか？

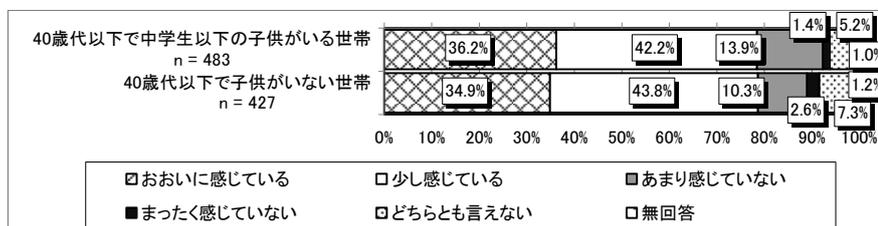
##### ①全体集計



##### ②年代別集計

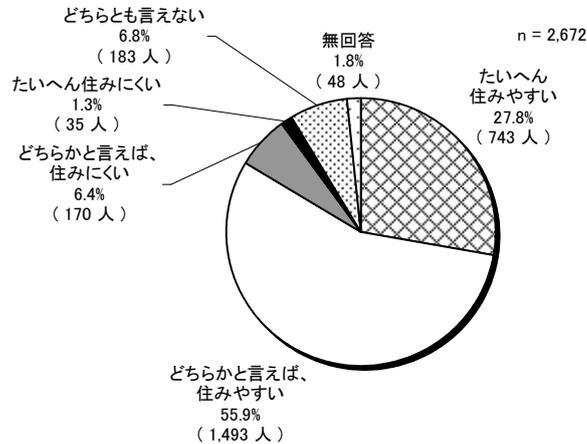


##### ③40歳代以下の若い世代の集計

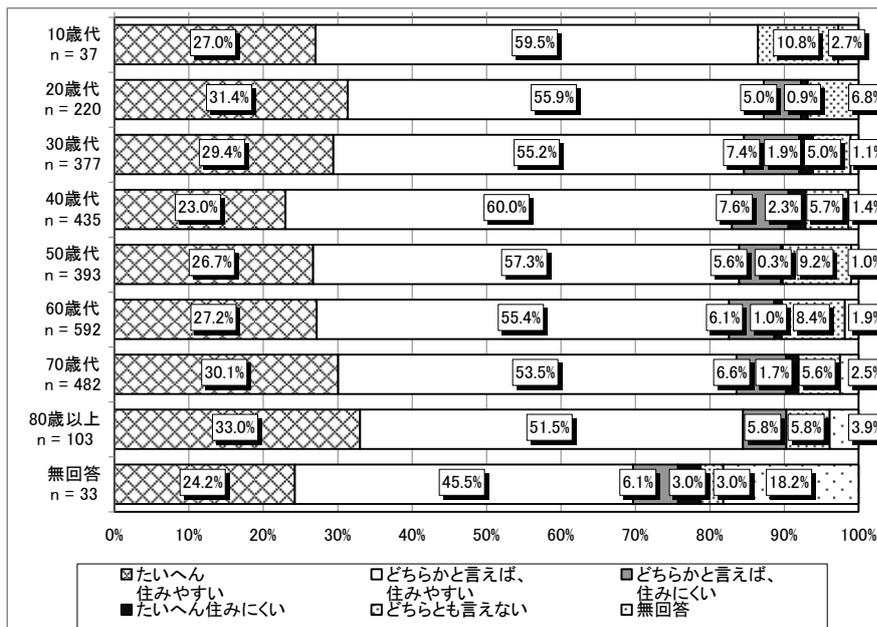


問3-2 お住まいの地域は、住みやすいですか？

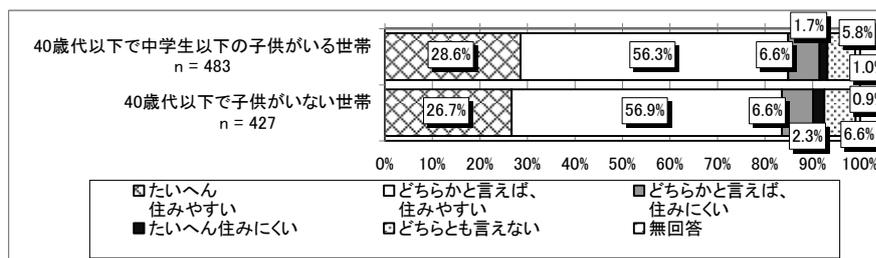
①全体集計



②年代別集計

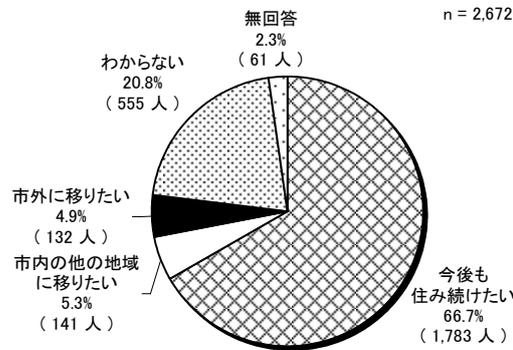


③40歳代以下の若い世代の集計

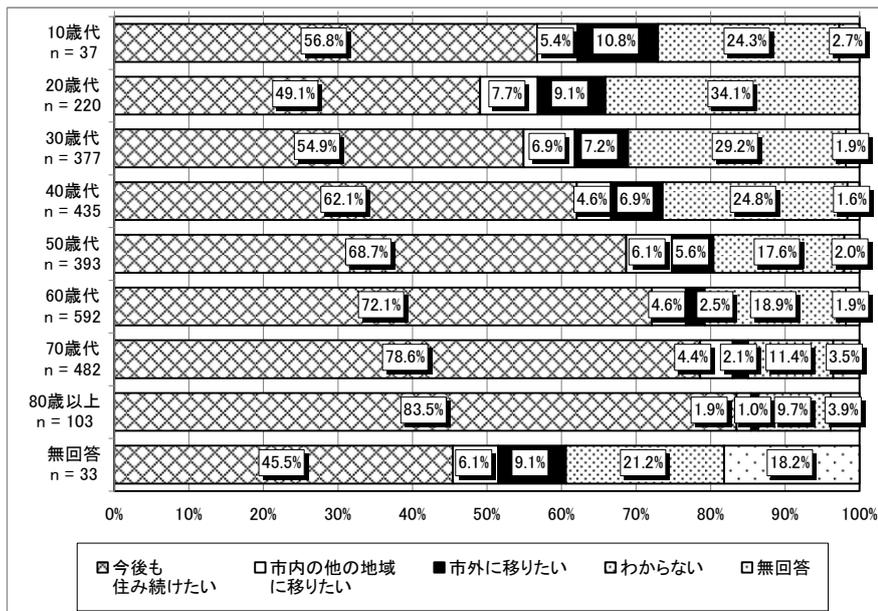


問 3-3 お住まいの地域に、今後も住みたいと思いますか？

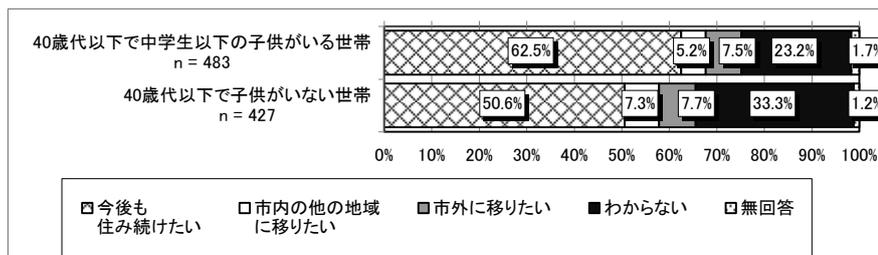
①全体集計



②年代別集計



③40歳代以下の若い世代の集計

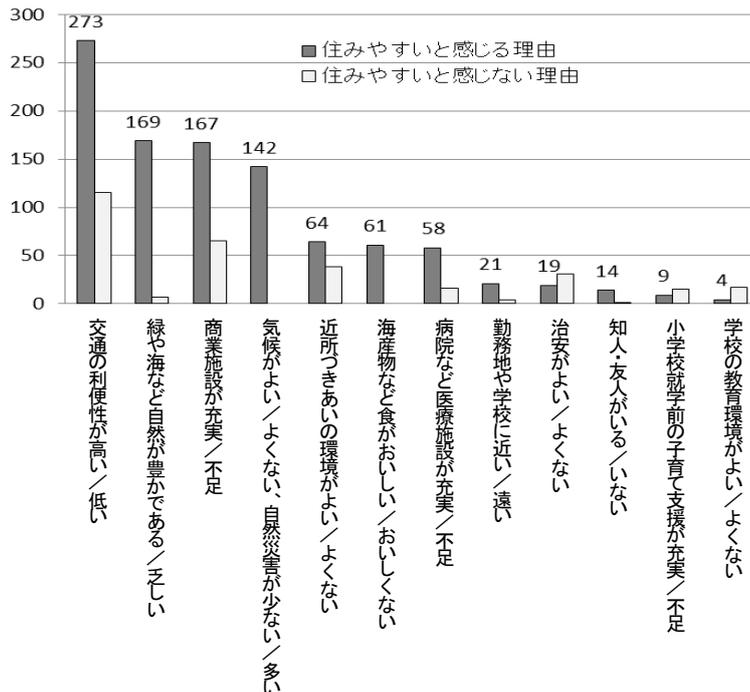


問3-4 まちのどこに愛着があるか、住みやすさ・住みにくさを感じる場所、他のまちに移りたい理由などについて、ご自由にお書きください。

## 1 結果概要

自由記述でご意見を求めたところ、1,302名から意見をいただいた。それを住みやすいと感じる理由と感じない理由に分類すると、下図のとおりである。

図 愛着のある点、住みやすさ・住みにくさなどへのご意見の主な分類



### ① 住みやすいと感じる理由

問3-2で「たいへん住みやすい」又は「どちらかと言えば住みやすい」と答えた割合があわせて8割を超えていた。全体的に住みやすいと感じる理由についての記述が多く見られた。「交通の便がよい」という意見が最も多く、具体的には、JR・私鉄の駅が徒歩圏内にある、新幹線の駅がある、JRの新快速が停車し神戸・大阪に行きやすい、バスの本数が多い、たこバスが通り便利になったという意見があった。

次に、「海に近く、田畑など緑も多く残り、自然が豊かである」という意見が多く、具体的には、海岸線や明石海峡の景観が美しい、明石公園の緑がよい、自然が豊かで四季の変化が感じられ散歩によいという意見があった。

さらに、「スーパーなどが近くに多く、買い物が便利」という意見も多かった。

また、「気候が温暖で過ごしやすい」という意見も多く、それにあわせて「自然災害が少ない」という意見が比較的に見られたほか、「近所づきあいがよく、地域のつながりが感じられる」、「魚や野菜が新鮮で、食べ物おいしい」、「病院が近くにあり、充実している」という意見があった。

### ② 住みやすいと感じない理由

交通に関する意見が最も多く、道路が狭い、歩道が少ない、国道2号がいつも渋滞している、街灯が少なく暗くて危険であるという意見が多く見られた。また、交通の便が悪い、バスの本数が少ないという意見が、特に大久保以西で見られた。

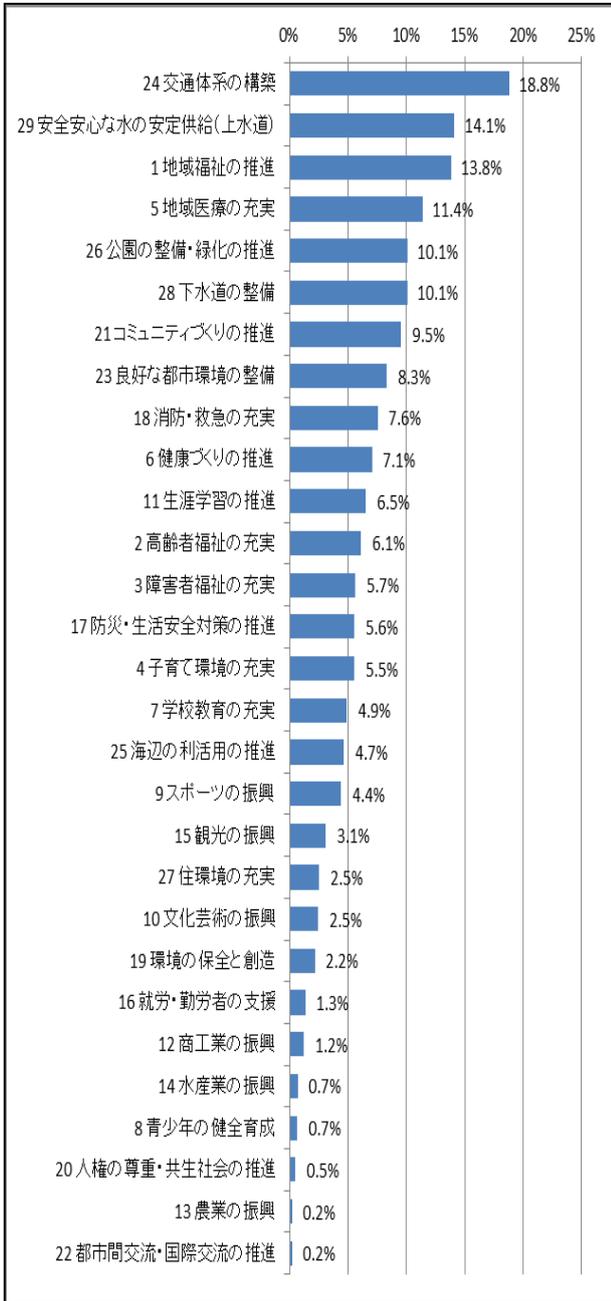
スーパーが少ない、大型の商業施設がない、商店街がないといった商業施設に関する意見も、魚住地域を中心に、比較的多く見られた。

そのほか、近所づきあいが希薄である、夜間に中高生がたむろしたり、不審者がいて治安に不安があるという意見も見られた。

問 3-5 市が進めている施策について、ここ数年、特にどの分野がよくなったと思いますか？また、今後、どの分野を強く推進することが必要だと思いますか？

①全体集計

●ここ数年、よくなった分野



●今後、強く推進する必要がある分野



### Ⅲ 調査結果の概要

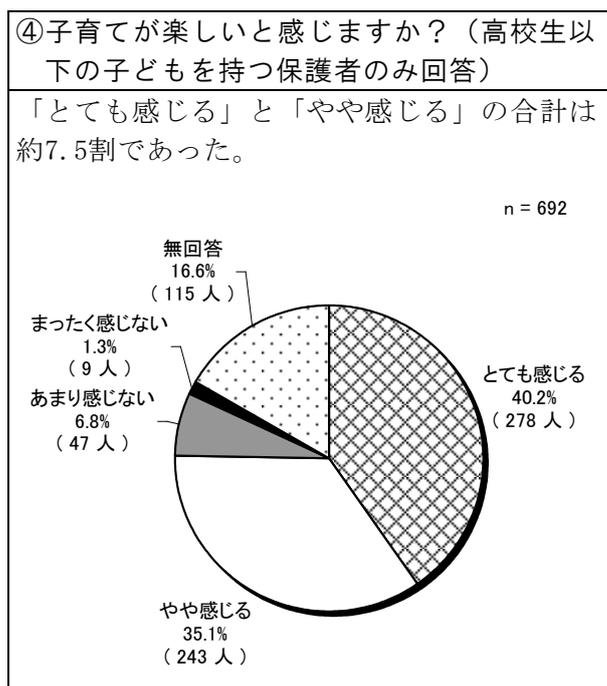
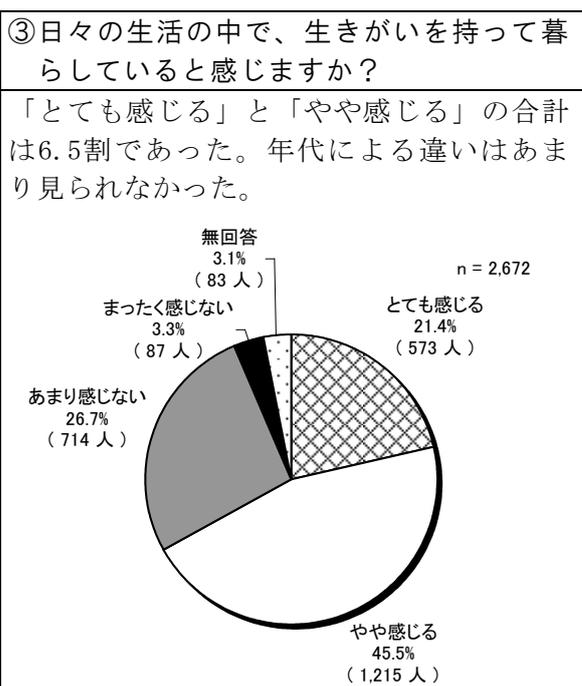
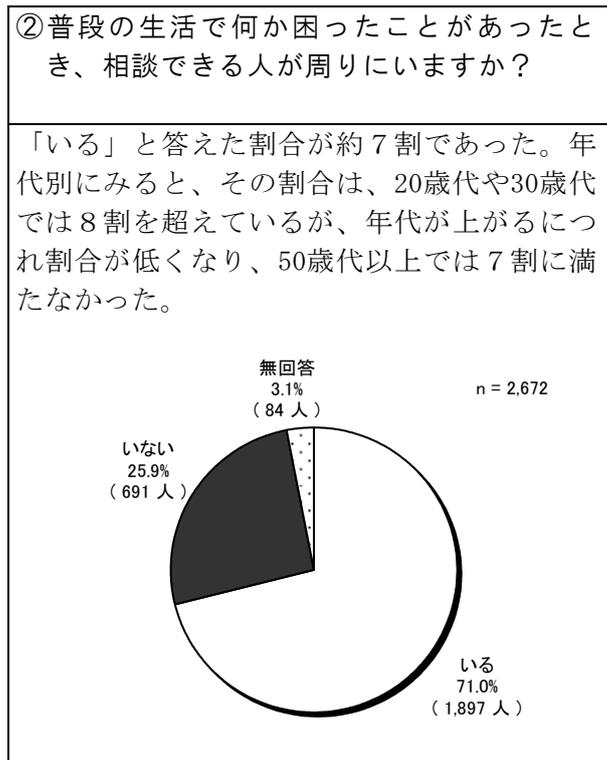
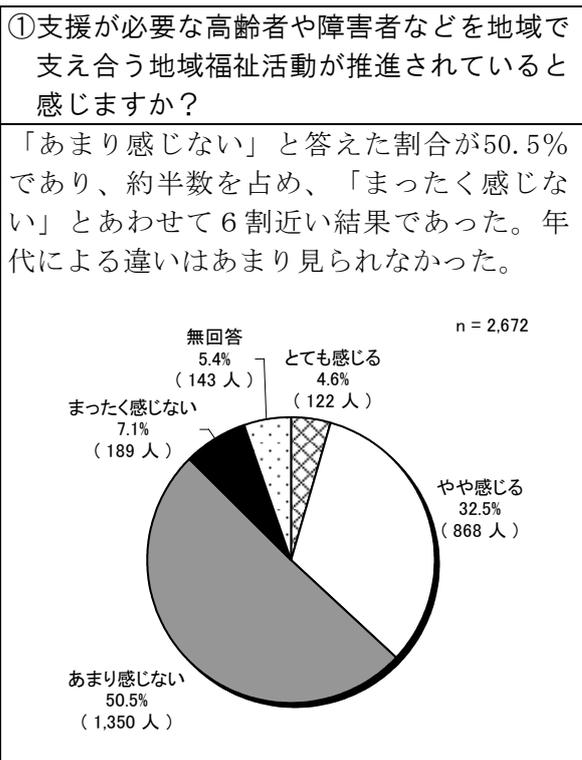
#### 3) 各分野における意識や行動について (問4)

##### 1. 調査目的

各分野における施策の推進状況の参考とするため、市民の皆さんの意識や行動について調査を行った。

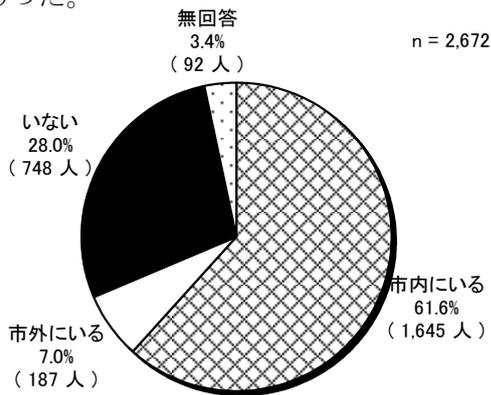
##### 2. 各設問の集計結果

###### (1) 健康・福祉分野について (問4-1 ①～⑥)



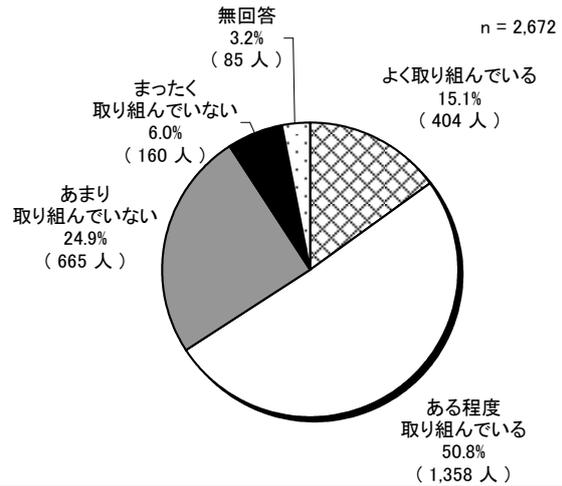
⑤体調が悪い時に診察してもらう「かかりつけ医」がいますか？

「市内にいる」の割合が約6割、「市外にいる」の割合が1割弱であった。年代別にみると、10歳代から50歳代の各年代では、「いる」の割合が6割前後であったが、60歳代以上では、年齢が上がるほど「いる」の割合が増え、80歳以上では、8.5割程度であった。



⑥日常生活の中で、健康のためによい生活習慣（食事や運動など）に取り組んでいますか？

「よく取り組んでいる」と「ある程度取り組んでいる」の合計は6.5割であった。年代別にみると、30歳代から50歳代までは6割程度であるが、60歳代以上では7割を超えるなど、年齢が上がるほど高い傾向にあった。

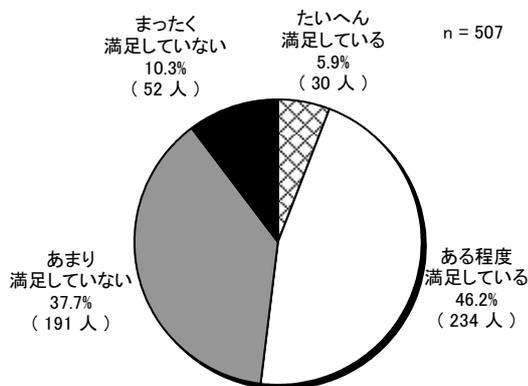


(2) 教育・文化分野 (問4-2 ①~④)

①市立学校における学習指導に対して満足していますか？

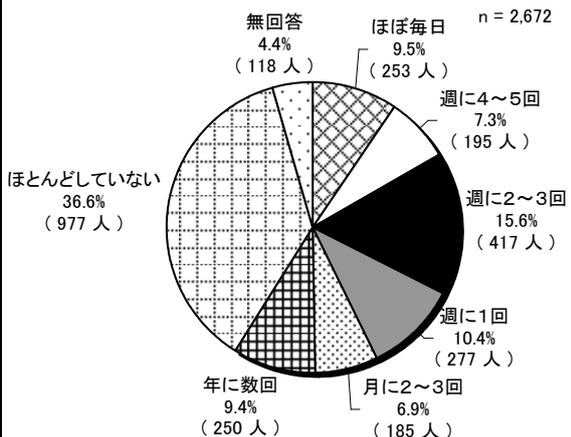
(市立の小・中学校、明石商業高校の児童、生徒の保護者のみ回答)

「たいへん満足している」と「ある程度満足している」の合計は約5割で、「あまり満足していない」と「まったく満足していない」も5割近くに達し、意見が分かれた。



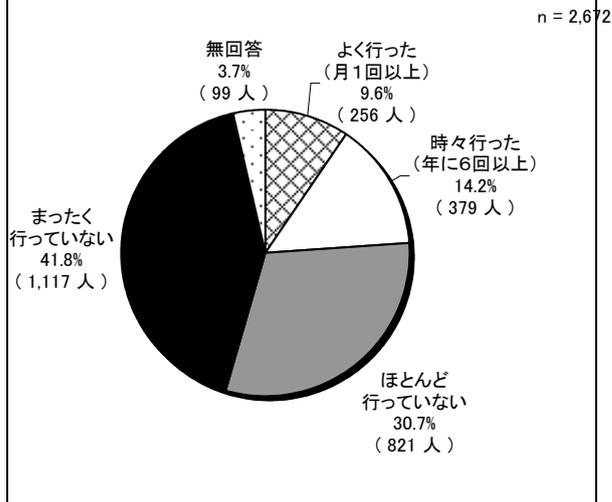
②この1年程度の間、スポーツや運動（1回あたり30分程度以上）をしましたか？

「週に1回以上運動している」割合が約4割で、「年に数回」と「ほとんどしていない」の合計は約4.5割であった。年代別にみると、「週に1回以上運動している」割合は、20歳代と30歳代で約3割であるが、年齢が上がるにつれ高くなる傾向にあり、70歳代や80歳以上では約5.5割であった。



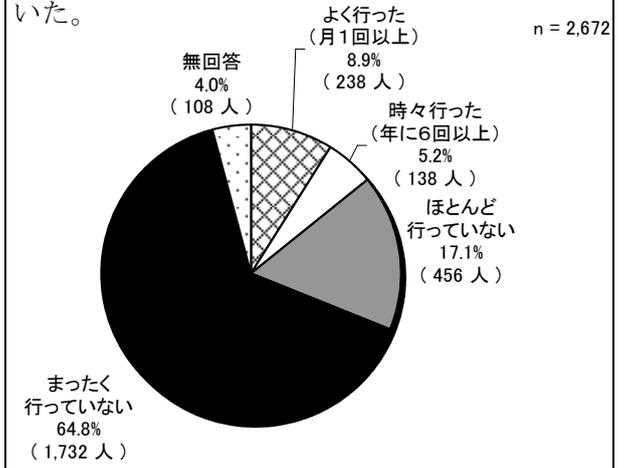
③この1年程度の間、自由時間の過ごし方として、文化芸術活動を行いましたか？

「ほとんど行っていない」と「まったく行っていない」の合計は7割を超えていた。年代による違いはあまり見られなかった。



④この1年程度の間、生涯学習活動を行いましたか？

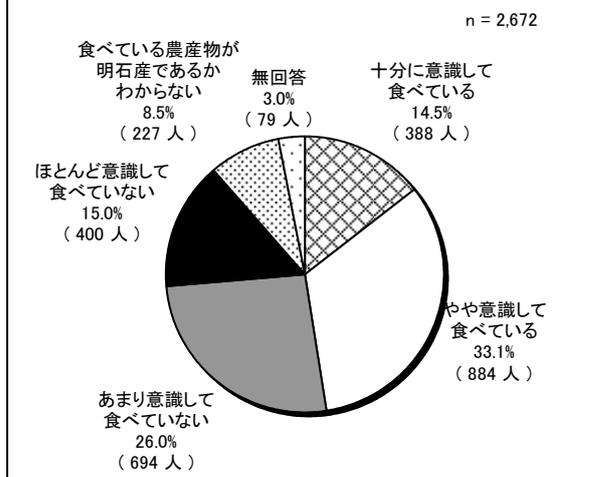
「ほとんど行っていない」と「まったく行っていない」の合計は8割を超えていた。年代別にみると、50歳代以下では9割程度であり、70歳代や80歳以上でも7割程度に達していた。



(3) 産業・観光分野 (問4-3 ①~③)

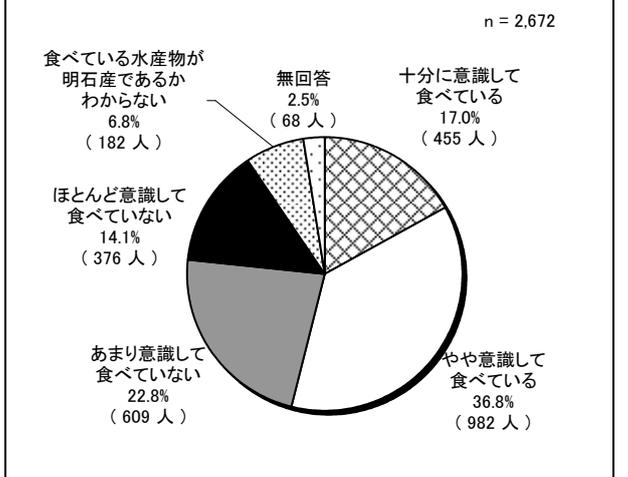
①明石産の農産物を意識して食べていますか？

「十分に意識して食べている」と「やや意識して食べている」の合計は約5割であった。年代別にみると、若い世代ほど「十分に意識して食べている」と「やや意識して食べている」の割合が少なく、年代が上がるにつれ割合が増える傾向にあった。



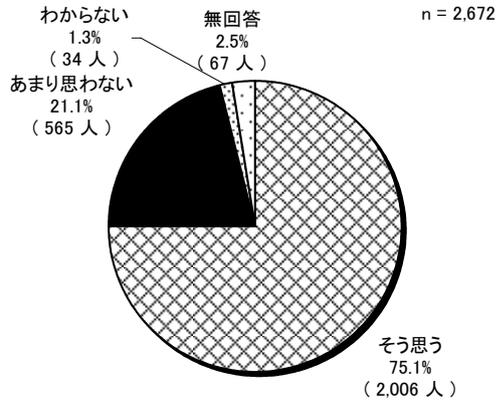
②明石産の水産物を意識して食べているか？

「十分に意識して食べている」と「やや意識して食べている」の合計は約5割であった。年代別にみると、若い世代ほど「十分に意識して食べている」と「やや意識して食べている」の割合が少なく、年代が上がるにつれ割合が増える傾向にあった。



③お住まいの地域は、日常の買い物が便利な地域であるか？

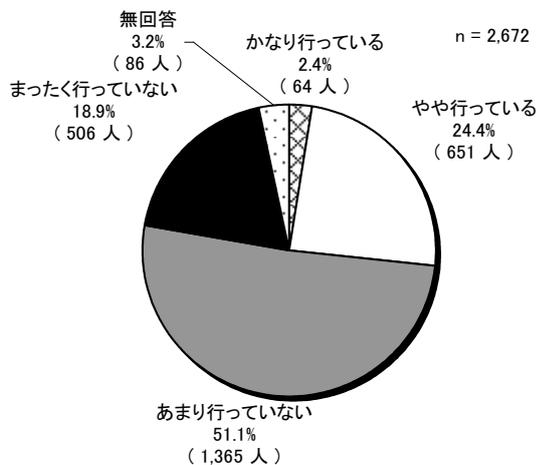
「そう思う」が7.5割を占めた。年代による違いはあまり見られなかった。



(4) 生活・環境分野 (問4-4 ①~⑥)

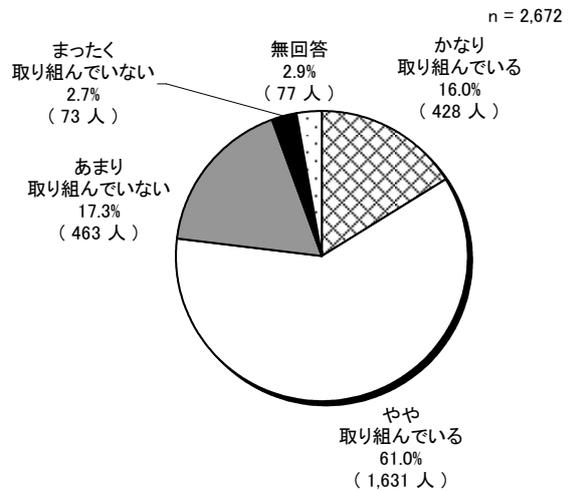
①地震や風水害などの災害に対し、普段から何らかの対策を行っていますか？

「あまり行っていない」と「まったく行っていない」の合計は約7割であった。年代別にみると、年代が上がるにつれ、その割合は徐々に増える傾向であった。



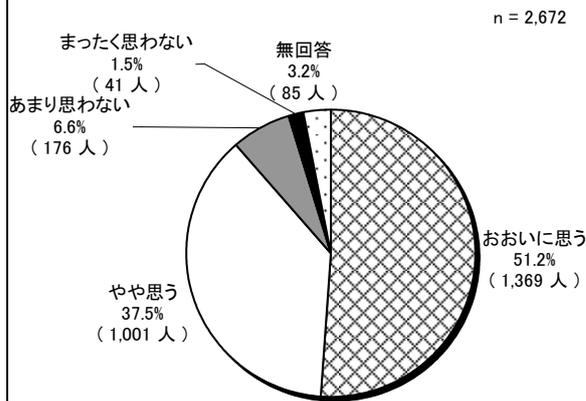
②電気、ガス、ガソリンの使用量を減らすなど、普段から省エネ行動に取り組んでいますか？

「かなり取り組んでいる」と「やや取り組んでいる」の合計は約7.5割であった。年代別にみると、年代があがるほど「かなり取り組んでいる」が徐々に増える傾向であった。



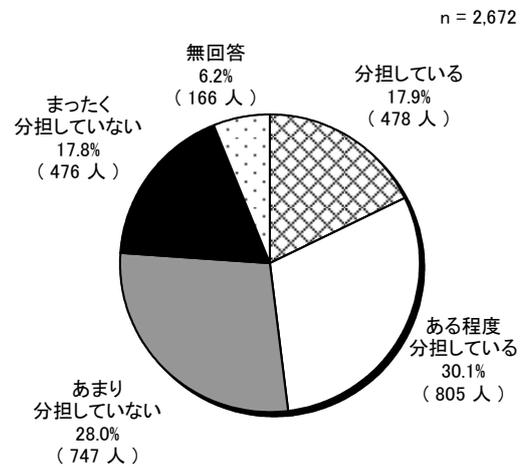
③人権は人が幸せに暮らしていく上で大切なものだと思いますか？

「おおいに思う」と「やや思う」の合計は9割近くに達していた。年代別にみると、10歳代だけが「おおいに思う」の割合が若干高いものの、年代による違いはあまり見られなかった。



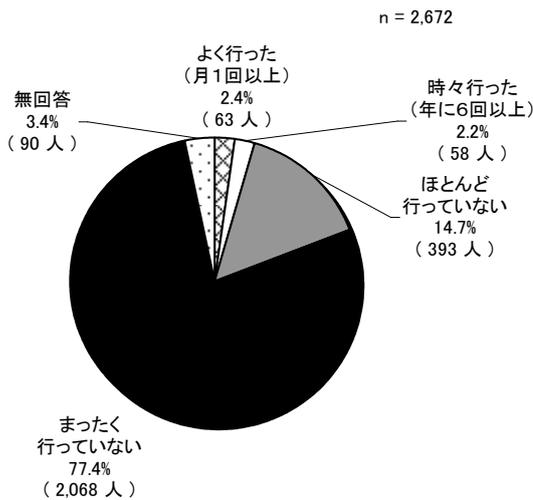
④家庭において、家事を分担していますか？

「分担している」と「ある程度分担している」の合計は5割弱であった。年代による違いはあまり見られなかった。



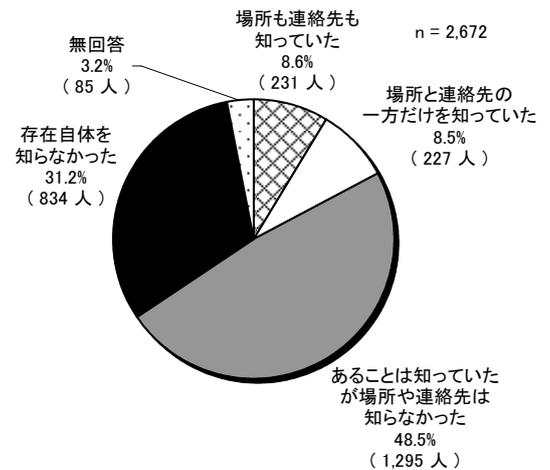
⑤この1年程度の間、国際交流活動（在住外国人との交流を含む）を行いましたか？

「ほとんど行っていない」と「まったく行っていない」の合計は9割を超えていた。年代別にみると、10歳代だけが「よく行った」の割合が若干高いものの、その他の年代では違いは見られなかった。



⑥あかし消費生活センターを知っていましたか？

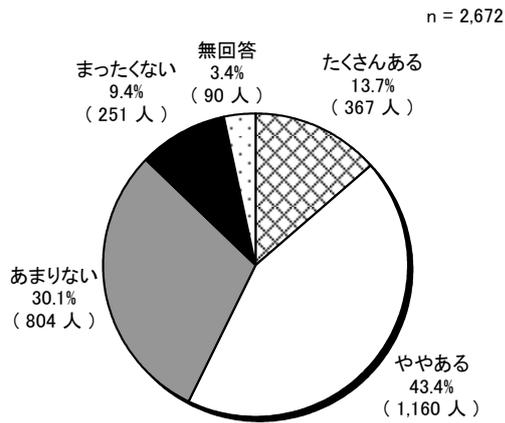
「あることは知っていたが場所や連絡先は知らなかった」と「存在自体を知らなかった」の合計は約8割であった。年代別にみると、「存在自体を知らなかった」割合は60歳代以上で低くなるものの、年代による違いはあまり見られなかった。



(5) 都市基盤整備分野（問４－５ ①～③）

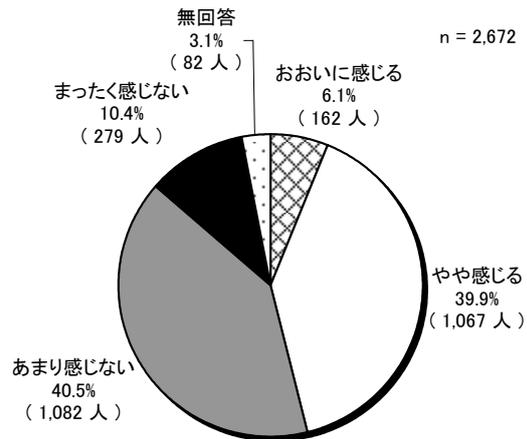
①市内やお住まいの地域に誇れる景観がありますか？

「たくさんある」と「ややある」の合計は6割近くであった。年代による違いはあまり見られなかった。



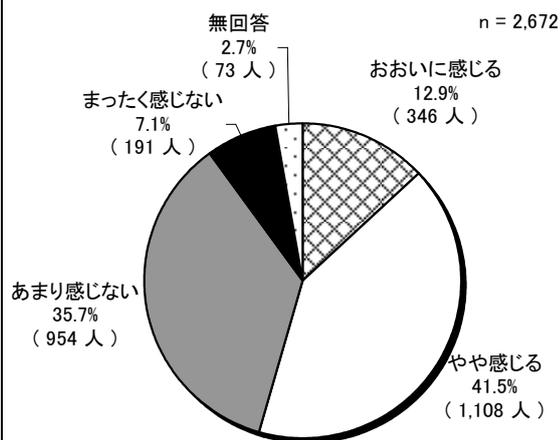
②お住まいの地域の道路は安全と感じますか？

「おいに感じる」と「やや感じる」の合計は5割弱、「あまり感じない」と「まったく感じない」の合計はほぼ5割で、意見が分かれた。年代による大きな違いは見られなかった。



③お住まいの地域には緑が多いと感じますか？

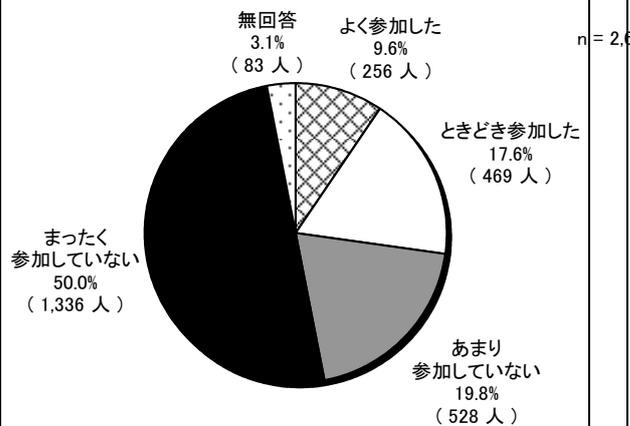
「おいに感じる」と「やや感じる」の合計は約5割であった。年代による違いはあまり見られなかった。



(6) 行政経営分野（問4－6）

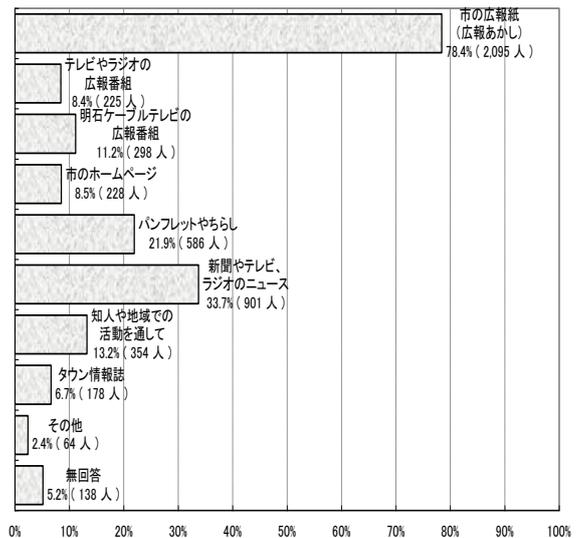
①この1年程度の間に、地域のまちづくり活動（自治会活動やボランティア活動など）に参加しましたか？

「あまり参加していない」と「まったく参加していない」の合計は約7割であった。年代別にみると、20歳代が特に「あまり参加していない」と「まったく参加していない」が多く9割を占めた。



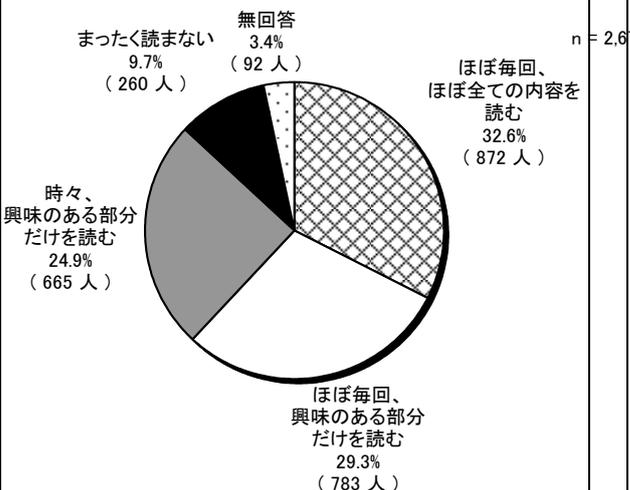
②市の取り組みや計画に関する情報を主に何から得ていますか？

「市の広報紙」が最も多く8割近くに達した。次いで「新聞やテレビ、ラジオのニュース」が3割強、「パンフレットやちらし」が約2割であった。年代による違いはあまり見られなかった。



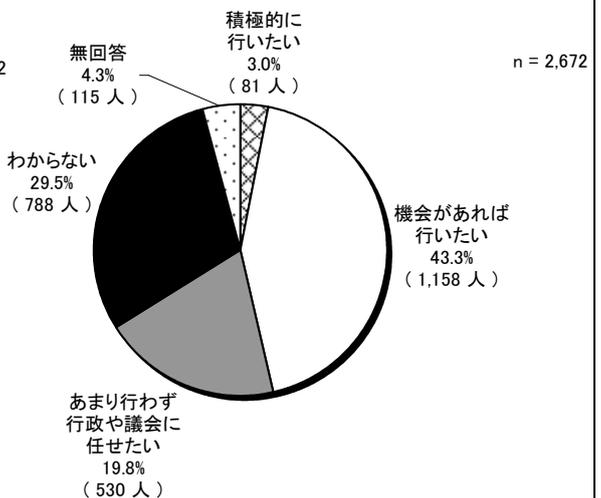
③市が月に2回発行している広報紙「広報あかし」をどの程度ご覧になりますか？

「ほぼ毎回、ほぼ全ての内容を読む」と「ほぼ毎回、興味のある部分だけを読む」の合計は約6割であった。その割合を年代別にみると、20歳代以下では3割に満たないが、年代が上がるにつれて高くなり、60歳代以上では7割を超えていた。



④市の計画に意見を出したり、市の取り組みに参加して活動したりすることについてどう思いますか？

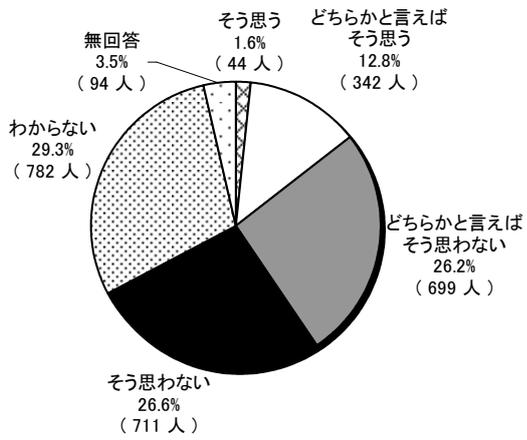
「積極的に行いたい」と「機会があれば行いたい」の合計は5割弱であった。その割合を年代別にみると、30歳代が最も高く、年齢が高くなるにつれ低くなる傾向にあった。



⑤ 市政への意見を述べる機会が十分に確保されていると思いますか？

「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」の合計の割合は約5割で、「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計の割合は約1.5割であった。年代別にみると、年齢が上がるにつれ「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計が徐々に増えるものの、全体的に「どちらかと言えばそう思わない」と「そう思わない」の割合が高かった。

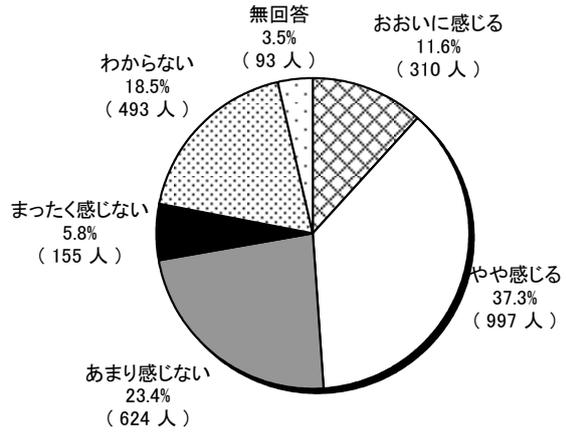
n = 2,672



⑥ 市の窓口サービスについて、適切で気持ちのよい対応がなされていると感じますか？

「おおいに感じる」と「やや感じる」の合計は約5割であった。年代別にみると、年代が上がるにつれ、「おおいに感じる」と「やや感じる」の割合が増える傾向であった。

n = 2,672



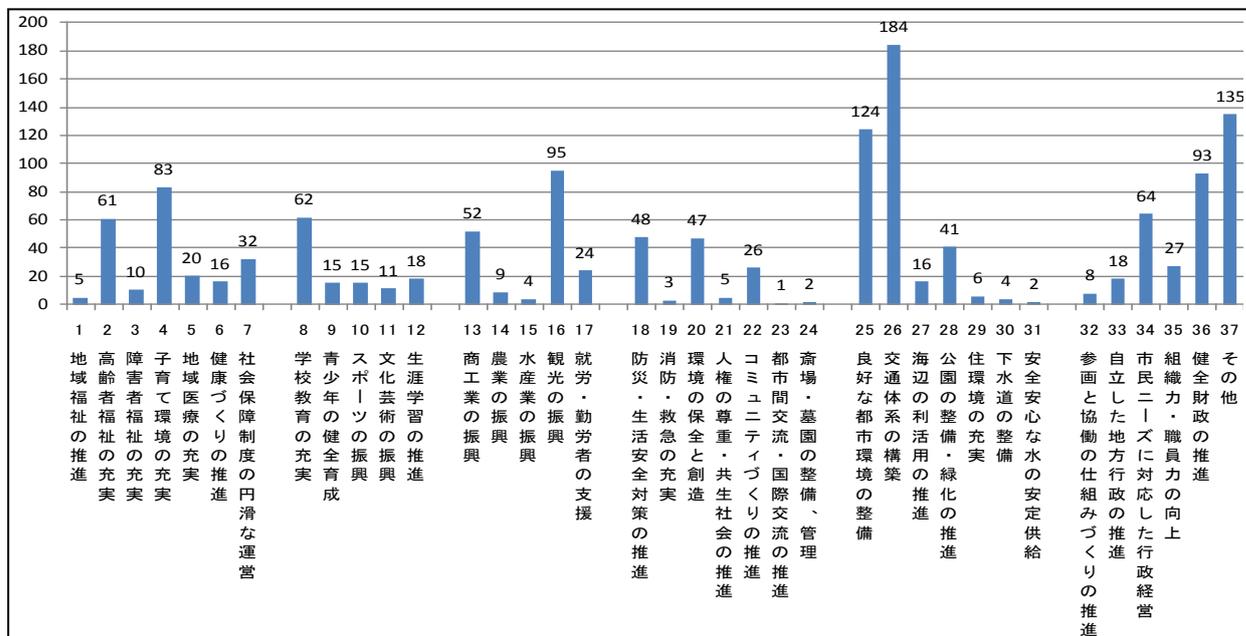
### Ⅲ 調査結果の概要

#### 4) 今後のまちづくりに関するご意見やご提案（問5）

##### 1 結果概要

これからの明石のまちづくりについて自由記述でご意見・ご提案を求めたところ、970名から延べ1,386件の意見をいただいた。それを施策ごとに分類すると、下図のとおりである。

図 今後のまちづくりに関するご意見やご提案の分類



意見の多かった施策分野ごとにその内容を見ると、以下のとおりである。

##### 1 交通体系の構築（184件）

コミュニティバス（たこバス）の路線や便数の増、ルート変更を求める意見と、街路灯の整備を求める意見が非常に多かった。また、歩道の拡幅や整備、段差解消、道路舗装の改善、自転車道の整備など道路整備を求める意見もあった。

##### 2 良好な都市環境の整備（124件）

明石駅南再開発事業を含めた中心市街地の活性化に関する意見が非常に多く、特に再開発ビルの是非に対する意見が大半を占めた。それ以外では、同じく中心市街地の活性化に関連し、明石港の砂利揚げ場の早期移転を求める意見や、無秩序な小規模開発による田畑の減少を懸念する意見などが見られた。

##### 3 観光の振興（95件）

タイやタコといった海の幸、明石焼きをはじめとした食、明石海峡大橋や明石公園など既存の観光資源をもっと積極的にPRすべきといった意見があった。また、大蔵海岸などを活用して新たに魅力的な観光スポットを作るべきという意見があった。そのほか、B-1グランプリの開催など観光イベントの開催などの意見も多く見られた。

##### 4 健全財政の推進（93件）

財政健全化の取り組みを進める前提として、まず公務員の人員や給与の削減、民間委託の推進など、行政改革を徹底すべきという意見が多かった。また、高齢者への助成について廃止を求める意見などが見られた。

##### 5 子育て環境の充実（83件）

待機児童の解消、保育所の充実を図るべきという意見とともに、他都市と比較して、乳幼児医療費助成制度の拡充を要望する意見をいただいた。

##### 6 その他

議員定数の削減など、議会改革を求める意見も27件見られた。